

強者にも弱者にも

一八六

鉛管取附

二

左官

七

ペンキ塗及裝飾

九

各種下働

一〇

雜

一六

(ロ) 鑛山及採石

計

九八

炭坑

八八

金屬鑛山及採石場

一〇

(ハ) 金屬工業(機械造船を含む)

計

一六三

製鐵及製鋼

一五

鑄物

九

機械(一般)

二〇

鍛冶

三

眞鍮及銅

八

紡織機械

一四

電氣機械

五

造船

一九

錫板、鐵板

二二

鑄

三

線及管

五

蹄鐵

三

刀物

一五

金銀

六

鎖、釘、ナット、ボールト

七

英國勞働團體の種別及員數

一八七

強者にも弱者にも

雑

(ニ) 紡織

綿糸

麻布

羊毛

莫大小

毛氈

レース

絹布

染色、漂白等

倉庫又は荷造

雑

計

一八八

九

二六四

一五二

二七

二七

二二

四

一一

八

〇

九

四

(ホ) 運輸

汽車

電車、自動車、馬車、荷車

海員

運河

船渠及波止場

(ヘ) 化學工業

一般化學工業

硝子

蠟

煉瓦

煙管

英國労働團體の種別及員數

計

六八

九

一七

一四

七

二一

三八

八

二三

五

一

一

一八九

強者にも弱者にも

(ト)被服

靴

裁縫

帽子

洗濯

雑

(チ)木工業

箆筒類

家具

車輛

桶及樽

機械

計

一九〇

三六

二二

七

一六

一

一〇

七〇

五

四

八

三三

二

荷箱

雑

(リ)機關(運轉手及火夫)

(ヌ)食物

パン及菓子

獸魚肉

醸造

雑

(ル)煙草

(オ)農業

(ワ)漁業

(カ)製紙

計

計

一一

七

一九

二七

一二

九

三

三

七

三

一〇

六

一九一

英國勞働團體の種別及員數

計

計

計

計

強者にも弱者にも

(ヨ)印刷(製本を含む)

(タ)纖維細工

籠類

刷毛

筵

(レ)製革

調帶、鞆皮等

馬具其他

(ソ)演藝

劇場使用人

奏樂者

寄席藝人

一九二

計

二七

計

一三

六

四

三

三〇

一五

一五

七

一

三

一

俳優

職業的フットボール手

(ツ)精神的勞働者

書記及店員

保險勸誘員

學校教師

記者

養育院勤務者

科學的研究所勤務者

(ネ)雜業

ホテル、俱樂部等

家庭内僕婢

計

七三

三二

一九

一九

一

一

一

三五

七

一

英國勞働團體の種類及員數

一九三

強者にも弱者にも

一九四

理髮

二

電信技手

二

大理石磨き

一

舗道、敷石等

八

雛形カード

一

看板書き

一

印刷原板彫刻師

二

護謨及リノリウム

二

産婆

一

園藝師

一

キルク

一

傘

一

烟突掃除

一

葬式人足

一

番人

一

廣告人夫

一

(ナ)一般労働者(職業の異同を問はざるもの) 計 一九

(ラ)政府使用人 計 一七五

海軍(船渠其他)

二九

郵便局

五〇

収税署(税關吏を含む)

一三

皇室所屬公園

三

燈臺

三

兵器製造所

七

英國労働團體の種別及員數

一九五

強者にも弱者にも

一九六

博物館

三

出版部

四

官營保險

六

各部書記

一五

各部臨時雇

六

雜

三六

(ム)地方廳使用人

計

二五

右千三百に近き現存組合中で左記數組合の如きは額る多數の組合員を有し其勢力範圍の全國一般に及んでゐる點に於て有力なる組合聯合會に比べても遜色のないものである。

(一)全國鐵道從業者組合 (National Union of Railwaymen)

一九一三年中既存の有力なる三組合の合同したもので、目下會員約五十萬(一

組合としては世界最多數のもの、(一)積立金約百萬磅を有し、其本部の建築の宏壯なことは英國勞働團體事務所中之に及ぶものはない。三角同盟の一員で首領はゼー、エチ、トーマスである。

本組合以外に鐵道從業員の組合として有力なものは會員約五萬を有する機關車運轉手及火夫協會 (Associated Society of Locomotive Engineers & Firemen) 及會員約九萬を有する鐵道書記協會 (Railway Clerks' Association) がある。
(二)合同技工組合 (Amalgamated Engineering Union)

本組合は一九二〇年七月に既存の十一組合(主として機械又は眞鍮に關するもの)の合同したもので會員四十六萬人、見積金四百萬磅を有つてゐる。會長はゼー、ティー、ブラウンリーである。

(三)全國農業勞働組合 (National Union of Agricultural Workers)

一九〇六年の設立に係り現今全國各地に支部を設けること約三千、會員約二

十三萬で、英國農民總數の約四割、農民組合員數の約八割に相當してゐる。會長はダブリュー、アール、スミスである。

(四)一般労働者全國組合 (National Union of General Workers)

一八八九年の創立に係るも目下の組織名稱に改めたのは一九一八年である。會員約四十一萬、會長はエー、ダブリュー、ソルンである。

(五)労働者組合 (Workers Union)

一八九八年の創立に係り全国各地に支部を設けること約二千、會員五十萬を越え、會長はシー、ダンカンである。

(六)郵便局従業者組合 (Union of Post Office Workers)

郵便局員組合中最も有力なる三組合の一九一九年中に合同したもので會員九萬を有す。

(七)全國教員組合 (National Union of Teachers)

一八九〇年の創立に係り主として小學教員に依つて組織せられ目下會員十萬を越えて居る。

(八)店員倉庫係員及書記全國合同組合 (National Amalgamated Union of Shop Assistants, Warehouse Men & Clerks)

一八九一年の創立に係り目下會員十萬に達す。尙精神労働者の組合中官廳及鐵道以外のもので有力なのは左の二つである。

一、消費組合及商店被傭者及類似従業員合同組合 (Amalgamated Union of Cooperative & Commercial employees & Allied workers) 會員約十萬

一、全國書記組合 (National Union of Clerks) 會員約六萬

三 労働組合聯合會

労働組合聯合會

總計 一四七

内 譯

英國労働團體の種類及員數

強者にも弱者にも

(イ) 建築	計	九
(ロ) 鑛業	計	一四
(ハ) 金屬工業(機械、造船を含む)	計	五三
(ニ) 紡織	計	二三
(ホ) 運輸	計	八
(ヘ) 化學工業	計	五
(ト) 木工業	計	三
(チ) 機關	計	一
(リ) 煙草	計	一
(ヌ) 印刷	計	二
(ル) 纖維細工	計	二
(オ) 製革	計	三

二〇〇

(ワ) 精神的勞働者

書記	計	六
店員	計	一
保險勸誘員	計	一
學校教師	計	二
(カ) 一般勞働者	計	二
(ヨ) 政府使用人	計	一五
郵便局	計	四
書記	計	四
婦人書記	計	一
其他	計	六

右各種の聯合會中全國的に結合して居る團體の中で最も有力なものを擧ぐれば

英國勞働團體の種類及員數

二〇一

左の通りである。

(一) 全國建築従業者聯合會 (National Federation of Building Trades Operatives)
 一九一八年中に十三個の建築關係の全國的職業別組合が相寄つて組織したもので、會員約二十萬、會長はダブリュー、ブラッドショウである。

(二) 大不列顛國坑夫聯合會 (Miners Federation of Great Britain)
 各種の鑛山従業者組合より成る地方別の坑夫聯合會が更に全國的に聯合したもので、一八八八年に三萬六千の會員を以て創設せられたのが、一九二〇年には會員九十萬以上に達し、英國に於ける鑛山従業者の四分の三を抱擁してゐる。會長は一九一二年以來、スマイレーであつたが、一九二一年三月隱退して目下欠員になつてゐる。本聯合會に加入してゐない鑛山従業者の組合は約四十あつて、其内十七團體は一九一七年中聯合して坑夫外鑛山従業者全國協議會 (National Council of Mine Workers other than Miners) なるものを組織した。

(三) 鐵鋼業聯合會 (Iron & Steel Trades Confederation)

英國製鐵職工組合中比較的有力なる四組合の聯合會で、一九一七年中に設立せられ、會員約十三萬、會長はジョン、ポッチである。

(四) 聯合紡織工場従業者協會 (United Textile Factory Workers Association)
 紡織業聯合會中最大のものである。

(五) 全國運輸従業者聯合會 (National Transport Workers Federation)

一九一一年の創立に係り船渠、波止場、運河、船舶、馬車其他海陸の運輸(鐵道を除く)に關係ある三十四個の組合から成つてゐるもので、會員約四十萬に達す。坑夫聯合會と同じく三角同盟の一員で、會長はハーリー、ゴスリンである。

(六) 一般勞働者全國聯合會 (National Federation of General Workers)

主として不熟練労働者から成つてゐる十二個の組合によつて一九一七年中に組織せられたもので、會員は男子約百五萬女子約十二萬其職業の種別は二百に達する。會長はゼー、アール、クラインスである。

四 労働組合又は労働組合聯合會の提携團體

(イ) 労働組合議會 (Trade Union Congress)

労働組合共通の利害に關する事項を協議する爲に一八六八年に創立せられたもので、其第一回のマンチェスター會議に列席した者は約十二萬の労働組合員を代表する三十四人の代議員に過ぎなかつたが、自今毎年一回各地に總會を催し、漸次加入組合の増加に伴れ列席代議員の増加を來し、一九二〇年九月のポーツマウス總會には約六百五十萬の労働組合員を代表する九百五十名の代議員が參列した。有力なる労働組合で之に加入してゐないものは殆んど無く、新に組織せられた被傭者の團體は之に加入すると否とを以て其團體が

労働組合たることを自認してゐるかどうかを判別する證左とせられる。其總會は英國に於ける労働運動の年中行事中最も華々しいものではあるが、同會が一種の示威運動としての効果以上に労働組合運動の實質的中樞機關として活動した例は從來甚だ少かつたやうである。現會長はゼー、エチ、トーマスである。

最近數年間に於てした本會の決議中最も注意すべきは一九一八年の創立五十年紀念總會に於ける土地、鐵道、炭坑其他公共的事業の國有及民主的管理案の可決及一九二〇年三月の臨時總會に於ける直接行動に依る炭坑國有遂行案の否決であつた。

(ロ) 労働組合一般聯合會 (General Federation of Trade Unions)

同盟罷業中罷業者の生活費を支辨する一種の相互保險機關たらしめる目的を以て一八九九年前項の労働組合議會の決議に依つて設立せられたもので、一

九一三年以後坑夫聯合會其他有力なる二三の労働團體の脱退を見たけれども今猶加入組合員は百五十萬を超えてゐる。會長はダブリュー、エー、アツブルトンである。

同會は創立當時から労働組合國際聯合會 (International Federation of Trade Unions) に加入してゐた因縁上、戰時中一時英國労働團體の國際的代表機關であるかの如き振舞があつたが、それは同會本來の性質上から見て妥當を缺いた措置と認められてゐる。近時の労働運動には全く無關係の地位に在る。

(ハ) 労働黨 (Labour Party)

労働黨は労働組合議會一九〇〇年總會の決議に依つて、同會の政治的活動の中心機關たらしめる目的を以て設置せられた労働代表委員會 (Labour Representation Committee) の後身である。初期は労働團體の聯合會のやうな性質を有つてゐたが、後に個人を黨員とする純然たる政黨組織に改めた。其黨員

は目下約五百萬であるが、其九割九分は労働組合員である。其選出に依る下院議員は六十八名で別に議會労働黨 (Parliamentary Labour Party) を組織してゐる。院内總理はクラインスである。

(ニ) 鑛山、鐵道及運輸従業員同盟 (Alliance of Miners, Railwaymen, and Transport Workers)

これ通常三角同盟と呼ばれてゐるもので、一九一二年の炭坑夫總罷業後坑夫聯合會の熱心な主唱に依つて一九一五年に正式に成立したものである。これに包括せらるゝ組合員は坑夫聯合會九十萬人、全國鐵道従業員組合五十萬人、全國運輸従業員聯合會四十萬人、合計百八十萬人で英國労働組合員總數の約四分の一に近い。本同盟の目的とする所は國家的労働爭議の發生に際し相協力して有效なる運動をなさんとするに在る。

強者にも弱者にも

二〇八

五 労働組合協議會數

労働組合協議會數

計 五一二

内 譯

(イ) イングランド(ウェールズを含む)

計 四三九

(ロ) スコットランド

計 四八

(ハ) アイルランド

計 二五

(大正十年二月)

六 特權階級の覺醒と同化

一 急激なる過渡期

富豪は其財力を以て、官僚は其權力を以て、貴族は其名譽を以て、共に現代の社會に優勝者たるの地位を占め得た者である。此故に彼等にして其優越したる地位を保持することを希望する限り——然りそれは疑ひもなく一切の勝利者に共通の希望である——彼等は現在の法律秩序と社會遺徳とを、其儘維持することを利とするものである。何となれば彼等の成功は、畢竟現在の法律と道徳とが要求する人としての資格を最も多く具有してゐたことに依つて贏ち得られたものであるからである。

特權階級の覺醒と同化

二〇九

此故に現在の法律秩序と社會道德とが、國民多數の間に其權威と信仰とを失はない限りは、富豪、官僚、貴族は其特權を發揮するに憚る所なく、其名譽を誇耀するに虞るゝ所はない。何となれば彼等の行爲は決して法律的にも道德的にも民衆の正義の觀念を裏切る所がないからである。

併しながら今や時世は急激なる過渡期に立つてゐる。文化の進歩の過程に於ては或十年は時として或百年に相當し、或一年は屢々或十年に相當する。恐らく世界大戰終局前一箇年間の歐米各國に於ける民主的思想の勃興は、開戦前十箇年間のそれよりも顯著であつたと言へよう。而して大戰終局後十箇年間に於ける世界各國民の民主的思想の發現は、過去百年間のそれにも譲らぬであらうと想像すべき理由があると私は思ふ。佛蘭西革命は多くの學者が既に説いてゐるやうに、第一第二階級の壓制から第三階級を解放したものであつた。解放された第三階級は、自由と正義との名を以て第四階級を壓制することが、自己の特

權を維持する上に於て極めて必要であることを認め且用捨なくそれを實行した。十九世紀の文明殊に産業の發達に對する企業家の功績は没すべからざるものである。併しながら自由思想と個人主義の法律化並に經濟化の産物とも見るべき資本主義に對する勞働階級の反抗は十九世紀後半の最大なる疾患であつた。現今人類の最多數を占むる第四階級は、佛蘭西革命以來唯名ばかりの空疎なる政治上の平等を與へられたと同時に實質的に甚しい經濟上の不平等を受取らねばならなかつた。斯くて第三階級のための福音たる自由と平等の哲學は、政治と産業と教育との三方面に抜くべからざる基礎を築上げた。此基礎を震撼するために、佛蘭西ではサン・シモンやフリーリエーやブルードン、英吉利ではゴドウィンやホールやタムソン、獨逸ではロードベルツスやマルクスやラッサル露西亞ではバクーニンやクロボトキン等が必死の努力と宣傳とを試みた。併しそは是等の諸國民の實生活上に及ぼした影響の極めて微弱であつた事程さやう

に、政治上社會上の實權掌握者の思想改造に資する所が少なかつた。既存の法律秩序と社會道德とは巍然として金城鐵壁の如く、富豪と官僚と貴族とを擁護してゐた。

然るに今次の世界大戰はさしも難攻不落と聞えたる此金城鐵壁を根柢から震撼せしめた。露國に於ては外見最も堅牢と信ぜられてゐたにも拘らず、眞先に陥落して、無慘な潰滅を遂げた。獨逸に於ては半ば崩落した。伊太利に於ては大夏當に覆らんとしてゐる。佛蘭西は壘壁の修理に忙殺されて牙城の破損に氣付かないでゐる。英吉利は辛うじて其軍容を保つてはゐるが、將卒の士氣は既に阻喪してゐる。米國は其巨大なる兵器彈藥の力を以て防戦最も努めてはゐるが、攻撃軍の銳氣は更に摧かれぬからして、前途の樂觀を免されない。而して吾が日本は何うであらう。

二 特權階級の覺醒

日本現代の特權階級(年少氣銳なる一部の士を除いて)が上記の世界の大勢に案外無識であることは蔽ふべからざる事實である。従つて彼等は噴火孔上に舞踏しつゝある彼等自身の現狀に案外無關心で有り得るのである。其結果として彼等は現代に於て既に斷末魔に近づかんとしつゝある過去の法律秩序と社會道德との基本觀念を、萬代不易の原理であるかの如く考へ、自己の特權を子々孫々に繼承せしむることを得るものと誤信してゐるのである。斯ういふ誤信から起る懼るべき損害を最も多く蒙る者は勿論彼等自身でなくてはならない。

併しながら彼等の無識と誤信とに對しての全責任を現在生息しつゝある彼等自身にのみ歸するは妥當ではない。彼等は過去一世紀以上世界を支配した秩序と道德との因襲的觀念に依つて養育せられた人たちである。彼等は如何にして父祖が其富を造つたかを知らぬ正直なる遺産相續人の如きものである。而して其遺産を繼承して善良なる管理者としての責を果すことが、自己の先天的の特

權であり、又其特權に依りて最も幸福なるライフを楽しむことを得るものだと
いふ自覺を有つてゐる人たちである。而して又彼等は父祖の造つた富が勤勞の
結果か、盜奪の結果か、拾得の結果かを吟味することが、自分に取つては不愉快
な仕事であることを痛感してゐる人たちである。自己の地位と環境とが許す限
りに於て多くの享樂を求め、不愉快な仕事は極度まで之れを回避しようとする
のが人間の本能である以上、吾々は餘り苛烈に現代の特權階級を非難してはな
らない。

併しながら彼等が其特權掌握に就ての全責任を擔ふべきであるか何うかは姑
く別問題として、彼等の有する現在の特權が、新しい秩序及道德の要求と兩立
しないものであることは明かである。さうだとすると其然る所以を出来るだけ
速に彼等に理解せしむるといふことが、社會のためにも彼等自身のためにも、
最も望ましいことであるに相違ない。語を換へて言へば、彼等をして新秩序新

道德に覺醒せしむることが目下の急務でなくてはならない。

然らば如何にして覺醒せしむべきかは甚だ至難なる問題である。第一に彼等
をして其有する金と時とを利用して親しく歐米の新空氣に觸れしめ、思想の變
化を直接感得せしむることも一案であらう。併し恐らく此案は十分の効果を舉
げ難い。何となれば元來人間は自己の感情を樂しましめる事物の價值を過大視
し、然らざる事物の價值を過小視する自然の心理的作用を有するからである。
しかのみならず、彼等が歐米に於て接觸する人物の最大多數は彼等と同等の社
會的地位境遇に在る人々であらうと想像せらるゝが故に、非特權階級から發生
して、全社會に瀰漫しつゝある新思想も、案外彼等の耳目を掠めて去るに過ぎ
ないかも知れぬと疑はれる。

第二に彼等をして新思想を紹介し解説し究理したる幾多の文章を熟讀玩味せ
しめることも一案であらう。併し此案の實行難は日本の貴族富豪が意外に智識

欲に乏しく讀書力に缺けてゐる點に在る。尤も一部の企業家は自己の専門に従事してゐる事項のみに關しては、相當の智識欲を有してゐる。併しそれは現に其業務の範圍に限られてゐる。當今知名の商工業者にして、晚餐を自宅に於て喫する機會を有する者は極めて稀である。彼等は連日連夜社交界に奔走して其少きを憂ひつゝある者である。若し彼等にして偶々餘閑を見出さんか、或は骨董に或は謠曲に或は俗曲に或は酒色に其慰安を求めらざらう。彼等は讀書以て自ら高うするを知らず、練身以て自ら強うするを好まぬ。文章を以て彼等を教へんとするは畢竟徒勞である。

觀じ來れば彼等を覺醒せしむるの途は、唯それ實物教育の外にはないであらう。彼等が視まいとしても視ざるを得ず、聽くまいとしても聽かざるを得ない境地に於て、彼等に臨床講義を施すこと之である。然らば謂ふ所の實物教育とは何であるか。それは民衆の實際運動である。普

選運動も可い。婦人解放運動も可い。生活改善運動も可い。禁酒運動も可い。併し其最も普遍的で、徹底的で、且つ有効的なものは労働運動でなくてはならぬ。

米國工場中最も賃率の高い、最も労働者幸福増進施設に巨費を投じてゐるユ・エス・スチール・コーポレーションが労働組合から最も強い反抗を受けてゐるのは何故であらう。労働者優遇制度の完備に於て世界に模範を垂れてゐる英國のポートサンライトの石鹼工場にも同盟罷業の勃發を見るのは何故であらう。日本の鑛山中最も合理的な賃金制度を有し、労働者に對する福利増進施設の發達してゐる足尾銅山が屢々最も險惡な紛議の中心となるのは何故であらう。關西に於て最も労働者待遇方法の進歩的な住友や三菱の工場が激しい爭議の舞臺となるのは何故であらう。それは何時迄も一時の流行病とのみ看做すことが出来るであらうか。それは常に外來の職業的煽動者の行爲とのみ見得るであら

うか。それは前原一誠や江藤新平や西郷南洲の亂を平げたやうに平げ得るであらうか。それは交番焼打や米騒動が沈静したやうに沈静するであらうか。さう信じていたのが現在の特権階級の本能であらう。彼等がさう信じてゐる間は彼等は未だ春夢の中をさまようてゐるのである。彼等が自ら覺めることを知らなければ、之を覺ますに足るだけの強烈なる刺戟を與へることも或は餘儀なき手段となるであらう。彼等は出来るだけ之を避けなければならぬ。さうするところが彼等のために最も幸福な結果を齎すべき最も賢明な策である。山雨は未だ至らざるも風は既に樓に満ちてゐるではないか。

三 特権階級の同化

假に特権階級は覺醒したとする。其時彼等は何を爲すべきであるか。之を彼等に示さなければ、彼等は途方に暮れるであらう。私は今之を示したい。彼等は先づ其特権を捨て、赤裸々なる一個の人格に復歸しなければならぬ

い。換言すれば唯一個の人格として民衆に同化するといふことである。併し茲に是非とも記憶して置かなければならぬことは、特権を捨て、民衆に同化するといふことは、人格としての固有の優越性を捨てることでもなければ、民衆の愚昧と不徳とに同化しなければならぬといふ意味でも決してないといふ事である。若し單純に一平民として、民衆とあらゆる點に於て平等に思考し生活しなければならぬといふことであるならば、それは到底生きた人間に不可能な事であるばかりでなく、寧ろ文化に對する罪惡である。人間は先天的に各々特性^{スベシヤリチ}を有つてゐる。此特性は如何なる教育を以ても到底陶冶し得べからざるものである。此特性は時としては道德的であり、時としては理智的である。而して自ら人間相互の關係に優等性^{スベリオリチ}と劣等性^{フエリオリチ}との區別を設くるものである。而して各人を其特性に最も良く適合したる境地に置いて、自由に其優等性を發揮せしむることが、社會全體として最も能率^{エフィセンシー}を高める所以であるのである。若し各人が其特

性を無視せられ、能力の優劣に拘はらず同じ作業に當らなければならぬとする
と、それは各人に取りて堪ふべからざる苦痛であるのみならず、社會全體とし
て最も拙悪な方法である。此故に各人は其特性を捨つるの必要がないのみなら
ず、其優等性を以て劣等性を支配するの特権を飽く迄も維持せしめなければならぬ。然らざれば文化の進歩は由々しき障礙を蒙らなくてはならない。實質的
の不平等を形式的の平等に押込めることは、自然の平等を人為の不平等で拘束
すると同じく背理である。

此故に來るべき新法律と新道徳の下に在ては、現在の特権階級中赤裸々なる
人格として其優等性を有する人は、現在以上に其優等性に當然隨伴すべき特権
を與へられるであらう。勿論其特権は現在の非特権階級中の人々の優等性に對
して與へられる特権以上でもなければ以下でもない。露國の勞農政府は曾て一
度右の特権階級の優等性を盡く無視しやうと企てた。併しそれは全然誤つた方

針であつたことを久しからずして發見したので忽ち其過失を改めた、何となればさうする事に依て損害を蒙るものは、新しい社會其者であつたからである。従つて私は確信を以て斯ういふことが言へる。現在の富豪、官僚、貴族中眞に自己の道徳的並に理智的能力に於て、數人に、數百人に、或は數萬人に卓越してゐる人は、新秩序新道徳の下に在りても、卓越した人の當然値する尊敬が拂はれ、任務が設けられ、特権が授けられるに違ひないといふことを。

デモクラシーとは畢竟一つの形式に過ぎない。人間の精神的肉體的能力が平均しない限りは——而してそれは永遠に實現しない——人對人の關係は必ず實質的に治者と被治者、支配者と被支配者、指導者と追従者、師と弟子との關係に置かれざるを得ないのである。此原則は一切の政治、法律、道徳を超越したる永久の社會の實相である。あらゆる形式は唯さういふ自然の法則を成るべく最小のフリクションやサクリフワイスに依つて實現せんがための手段に外なら

ないのである。

右のやうな意味に於て私は現在の特權階級が先づ人爲的の不自然なる其特權を捨て、赤裸々になつて民衆に同化することを奨めるものである。而して其處に實力に依つて新なる特權を掌握すべきである。唯斯くして得た特權は自分一箇のものに過ぎないことを忘れてはならない。かりそめにもそれを子孫に遺さうなどといふ邪念を起してはならぬ。子孫は又其實力に依つて別個の特權を得るに任すべきである。

(大正十年七月)

七 プロレタリアとインテリゲンチア

一 プロレタリアとは何ぞや

それは屢々我等を悩す問題である。そもくプロレタリアとは何であるか。何人にも口にされながら、何人にも正確に其意義を言ひ表すことの出来ない言葉は澤山ある。プロレタリアの如きもたしかに其一つと言へやう。プラトンは「正義」といふ語の眞義を模索するために十冊の書物を書いたが、竟に最後の斷案に達し得なかつた。若しプロレタリアの語義を闡明するために三冊の書物を公にする篤志家があつたとしても、我等は今日より以上に此語に就て發明する所が多いとは保證されない。

一字一字に餘り周到な注意を拂つてゐては「ましょく」に逢はない學者連中

は、プロレタリアは「社會の最下級に屬する人々」とか、「財産を全く所持しない者」とか「賃金に依つて生活を支へる者」とかいふやうな簡單な説明で片を附けたがる。も少し面倒を厭はぬ親切な學者たちは、正面から此語を定義するよりも、寧ろ此語のカテゴリーに入らぬ種類の人間を一つ一つ社會から摘み出して、後に残つた者がプロレタリアだと説明してくれる。先づ最初に摘み出されるのが不勞所得者即ち地代や利子で安樂な生活をしてゐる地主や金持である。その次に摘み出されるのが、貴族や官僚の如き世襲的及臨時的の特權階級である。その又次に摘み出されるのが、不勞所得者や特權階級の扈從者であつて、しかも彼等のボスの既得權の存続に由つてのみ自らが現在の地位境遇並に生活標準を維持することの出来る人たちである。例へば會社の高級の技師支配人や、保守黨に屬する代議士や、陸海軍の將校や、貴族の家令家扶等がそれである。その又次に摘み出されるのが、大學教授、醫師、辯護士等の如き高級の精神

勞働者である。

こゝらあたり迄は誰にも異論がない。が、今一つ次に下つて、官公署及會社銀行の下級俸給者、自作農夫、小賣商人、新聞雜誌記者等は何うかといふ問題になると事少しく面倒である。利口な學者は成るべく筆數を儉約するために、「半^{セミ}プロレタリア」といふ名目の下に一舉に彼等を片附けてしまふ。これも妙案でないこともない。「ボルセビズムの理論」の著者ポストゲートの如きがそれである。所が生真面目な多産主義のコールのやうな學者はこんなことでは承知しない。プロレタリアとブルジョアとの闘争は、如上の何方つかずの連中の向背に依つて著しい影響を受ける。「若し筋肉勞働者^{ミユウアルワーカー}が精神勞働者^{ブレインワーカー}の大部分を味方に附けることが出来るならば、彼等は殆ど抵抗なしに資本主義を崩落せしめることが出来るのみならず、それよりも遙に勝れた、能率の高い社會及産業組織を以て資本主義に置替へることが容易に出来るであらう。」とコールは言つて

ある。そして此事業に参加する筋肉労働者と精神労働者の總體を「擴大せられたる意味のプロレタリア」と名づけてゐる。して見ると擴大されざる故有のプロレタリアは「筋肉労働者」だといふことになる。彼は其著『産業上の渾沌と秩序』の第十二章の冒頭に「プロレタリア即ワーキング・クラス」と明言してゐる。然らば「ワーキング・クラスとは何ぞや」といふことになる、之亦簡單に手を付けられない厄介な問題となる。

元來「プロレタリアの獨裁政治」^{デクティターシツプ}といふ言葉の創始者たるマルクス自身がプロレタリアといふ語の意義に於て別に註釋は加へなかつた。彼の時代に於ては「賃金取得者」とか「労働者」とかいふ言葉を以て之に置き換へても別に不都合はなかつたのである。併し近年のやうに、小學教員や、巡査や、銀行會社員や、看護婦や、商店手代や、官廳の書記や、科學研究所の技術員等迄が團體を組織して労働組合の聯合會に加盟し、坑夫や、仲仕や、機械聯工や、汽車の機關手

や、電車の運轉手等と一緒になつて階級闘争に従事することを辭せない態度を示して來てからは、プロレタリアは最早「賃金取得者」や「労働者」の別名とのみ考へてゐる譯には行かなくなつた。苟くも資本主義を敵視し、社會主義の實現に助力する一切の人々は悉くこれプロレタリアであると解釋しなければ、鳥渡納りが附きさうもないやうに思はれて來た。

二 インテリゲンチヤの獨裁政治

一八七五年、獨逸の社會民主黨の結黨式に於て中外に宣明された「ゴータ綱領」なるものが、甚だ不徹底なマルクス主義とラツサル主義の折衷であつたことは今更説くまでもない。當時英國に在つたマルクスは此ていたらくに業を煮やして早速一書を友人に飛ばして悶々の情を遣つた。其中の一句に「資本主義的社會から共產主義的社會へ移り變る間に、革命的變遷の時代がある。之は政治上の過渡期を爲すものであつて、必ずプロレタリアの革命的な獨裁政治を以

てしなければならぬものである。」と言つた。マルクス主義の忠實な遵奉者を以て任じてゐるレニンは、現想通りのプロレタリア獨裁政治を十一月革命後の露西亞に於て實行した。然らば彼は如何なる種類の人間をプロレタリアと看做して之に獨裁權を授けたか。これはソビエツト議員の選舉及被選舉權を與へられた者と然らざる者とに依つて區別する外はない。先づ新勞農露國の憲法に依つて選舉及被選舉權を與へられた者は、男女、國籍、宗教の如何を問はず

(一) 年齢滿十八歳以上の者

(二) 生産的にして且社會に有用なる勞働に依り自己の生活費を得つゝある者

(三) 右の者を幫助するために家庭内の勞働に従事する者

(四) 陸海軍の兵士

(五) 上記の資格を有するも勞働能率を喪失したる者

之である。次に選舉及被選舉權とも與へられない者は

(一) 収益の目的を以て他人の勞務を使用する者

(二) 自ら勞働せずして資本の利子又は財産に依りて生活する者

(三) 私商人及仲買人

(四) 僧侶

(五) 舊皇族及舊政府の警察官吏

(六) 法律上心神喪失者と認められたる者

等がそれである。然らば即ちレニンに依つて承認されたプロレタリアなる者は全國民中から先づ右に掲げた選舉無資格者を引去り、更に其殘部から右の選舉資格を具備するに至らない者(主として十八歳未滿の年少者)を差引いた殘部を意味することになるのである。

此數千萬のプロレタリアは如何にして其獨裁權を執行するかと言へば、それ

は時々ソビエツト議員の選挙に投票するといふことだけである、しかも此真正なるべき選挙は實際に於て僅か六十萬の共産黨員に依つて擅に操縦されてゐることは今日周知の事實である。然らば此横暴なる共産黨は如何なる人々によつて組織されてゐるかといふと

労働者	七〇、〇〇〇
共産黨役員	三六、〇〇〇
労働組合役員	一一、〇〇〇
陸海軍將校士卒	一六二、〇〇〇
官吏	三二八、〇〇〇
店舗使用人	六、〇〇〇
計	六〇四、〇〇〇

である。即ち純粹の労働者は組合役員を合せて、全黨員の約七分の一を占める

に過ぎない。他は大部分精神労働者若くは智識階級に屬する連中である。

併しながら此六十萬の共産黨員も實は唯全露ソビエツト議員を選出するため
の便利に供せらるゝ集團に過ぎない。全露ソビエツト議會は名義上勞農露國の
主權を掌握してゐる。併し實際露國の最高政策を支配しつゝある者は此全露ソ
ビエツトでもなく、又更に其中から選任される全露中央執行委員でもなくして、
此中央執行委員會から形式上任命されることになつてゐる内閣議長レニン、陸
軍兼運輸大臣トロツキー外五六名の巨頭であることは、何人も疑はない明白な
事實となつてゐる。數千萬のプロレタリアの獨裁政治は畢竟するにレニン外數
名の獨裁政治に外ならない。然らば此數名の前身は果して何であらうか。

レニン(内閣議長)

著述家

トロツキー(陸軍兼運輸大臣)

同

ルナチヤルスキー(教育大臣)

文學者

プロレタリアとインテリゲンチヤ

カメネフ(モスコウソビエツト議長)

新聞記者

ジノビエフ(第三インターナショナル會長)

同

クリスチンスキー(大藏大臣)

法律家

疑ひもなく彼等は總てインテリゲンチヤである。頭腦の人であつて腕力の人でない。舌と筆の人であつて鈍や鶴嘴の人でない。社會最下層の人でもなければ、賃金労働者でもない。只それ理智と熱情に導かるゝ革命運動家である。數千萬の露國のプロレタリアは是等の數名に獨裁權を一任して、陰慘な曠缺な灰色の生活を營んでゐる。レニン其他數名のインテリゲンチヤは數千萬のプロレタリアの名に於て、怖るべき獨裁政治を行うてゐるのである。

三 プロレタリアと獨裁政治

カール・カウツキーはマルクス主義の正統祖述者として現代の第一人者である。然るに不思議にも彼は勞農露國がプロレタリアの獨裁政治を實施する手段

として、議員の選舉資格に制限を附したといふ理由の下にボルセビズムに反對してゐる。彼の見る所に依ればプロレタリアの獨裁政治とは現在の露國の如く選舉被選舉權を下層階級に壟斷するの謂ではなくして、全國民の一般選舉を基礎とするプロレタリアの自然的多數決の政治を意味するのである。彼はゴータ綱領に對するマルクスの批評中に謂ふ所の「プロレタリアの獨裁政治」といふ語も矢張さうであつたと主張する。それはマルクスが「純然たる勞働階級の政府である」と言ひ、「勞働の自由が獲得せらるべき政治の様式である」と言つて推讚した一八七一年のバリコムミューンが無制限の一般選舉から成立つてゐた事實に憑據するものである。カウツキーは社會主義實施の手段としては、プロレタリアの獨裁政治よりもデモクラシーを尊重するのである。而して眞のデモクラシーは資本主義專制の下に實現し難いと同じやうに、プロレタリア專制の下にも實現し難いとする。彼は一九二〇年に公表した『プロレタリア專制論』の

中で斯う言つてゐる。プロレタリア解放の手段としての社會主義は、デモクラシーを除いては思考し得べからざるものである。デモクラシーは社會のあらゆる種類の人々に均しく賦與せらるゝ政治的平等、即ち一般選舉の上のみ樹立せらるゝ。同時にデモクラシーは少數派に對する多數派の支配である。従つてマルクスの所謂プロレタリアの獨裁政治は、プロレタリアが社會の最大多數を占めるといふ理由から、眞のデモクラシーの上に必然的に實現する所のものである。これマルクスが共產黨宣言中に「總て過去の運動は少數者の利益のためにする少數者の運動であつた。然るにプロレタリアの運動は多數者の利益のためにする大多數者の獨立した運動である」と説いた所以であると。

言ふまでもなくカウツキーは暴力を以てする革命にも無論反對する。彼は階級闘争は武力に依らない平和的手段、即ち議會主義パリアメンタリズム、同盟罷業、示威運動、言論の方法を以てせなければならぬと主張してゐる。

かういふカウツキーの主張に従ふと、プロレタリアが資本主義に對し必勝を期するが爲には、智力が最も大切な武器となることは自然の結果である。彼はかう言つてゐる。「智識階級の援助なくしては、又其反抗を受けては、社會主義的生産は實行し得べからざるものである。若し人民の多數がプロレタリア黨に信頼しないか、或は隔離してゐるならば、智識階級の多數も亦同様の態度に出るであらう。此場合には優勝者たるプロレタリア黨は人民の他の部分に比し智力上の優越を有たないのみか、其敵手にも劣ることになるであらう。」

四 階級闘争のキヤスチングボート

正統マルクス主義の實行的祖述者中の最大なる一人と、理論的祖述者中の最大なる一人との間に、「プロレタリア獨裁政治」に對し上述の如き氷炭相容れざる見解の相違があることは寔に不思議な事態であると言はなければならぬ。レニンのボルセビズムが各國の社會主義者中に多くの反抗者を有すると同じく、

カウツキの非ボルセビズム論も亦多くの非難者を有してゐる。併し私は今之を對質吟味しやうとする者ではない。只我等が此際牢記して置きたいことは、レニンの實行に於ても、カウツキの理論に於ても、結局プロレタリアの社會改造運動は、事實彼等を指導する地位に在るインテリゲンチヤの運動に外ならぬといふ一事である。今日の複雑したる科學的産業組織が、優秀なる專問的智識に據らないで運用の出来ないものであることは、誰よりも勞農政府が最も良く經驗した所である。併しそれは獨り技術のみではない。行政事務に於ても全く同様である。教育は必ずしも優秀な才能を造出するものではない。それは唯天賦の才能を役立てる手引となるのみである。現代の社會制度の缺陷や、經濟組織の不條理を指摘して、之を矯正すべき理法を提唱した者はプロレタリアではなくして、インテリゲンチヤの考察と思索との力に依つてプロレタリアは甫めて自ら求むべきものを覺ることが出来たのである。インテリゲンチヤの彼等に對す

る熱誠と同情とがなかつたならばプロレタリアは永久に浮む瀬のな奈落に沈淪してゐる外はなかつたかも知れない。又將來もインテリゲンチヤの指導と幫助なしには、彼等は到底其智慮に長けたる敵に抗爭することは出来ないであらう。併しながら總てのインテリゲンチヤがプロレタリアの味方であるわけでは決してない。彼等の一部、時と場所とに依つては其大部分が資本家の味方であり、特權階級の扈從者である。インテリゲンチヤの多數を味方とする階級は強く、然らざる階級は弱い。何となればインテリゲンチヤは社會活動の原動力ともいふべき智識の供給者であるからである。

之を要するに階級闘争の勝敗はインテリゲンチヤの向背に依つて定まる。彼等は正にキヤスティング・ポイントの所持者である。

嗚呼併しなから、竟に勝利の當事者ではあり得ない。

(大正十年八月)

八 労働運動者の悲哀

一 闘争場としての労働者集會

大正十年七月二十六日の夜、神田の青年會館で、友愛會主催の下に阪神労働爭議後援演說會が開かれると知つた時、何を措いても之に臨まなければと私は思つた——無論一個の傍聽者として。

實を言ふと私は昨年四月、労働問題研究の目的を以て歐米に向ひ發足した以前は、労働者の集會といふものに餘り多くの興味を有たなかつた。其處には唯喧騒と不秩序と低級な辯論があるばかりだと想像してゐた。然り想像である。何故なれば私はそれ迄一度も労働者の公開的な集會に臨んで見たことがなかつたからである。然るに私は英米兩國に約八箇月程滞在してゐた間、屢々勞

働者の大集會を覗いて見る機會に逢つた。逢つたといふより寧ろ捉へた。そして其處に意外な靜肅と秩序と雄辯とを見出した。其處には業々しい取締の警官もゐなければ、惡罵専門の彌次もゐなかつた。壇上の辯士の演說は常に激越の調子を帯びてゐるに拘はらず、聽衆は時々の拍手を送る外には格別感動の意志表示をしなかつた。勿論辯士が引づり卸されるやうな紛擾もなければ、聽衆が蒼くなるやうな格闘も演ぜられなかつた。理智が凡てを支配してゐるやうに思はれた。かういふ光景に接する時、いつも私は祖國の労働者集會はどんなだらうといふ想像を喚び起さずにはゐられなかつた。労働問題の研究者を以て任じながら曾て祖國の労働者集會に臨んだことがなかつたといふことが、自分に取つて免すべからざる懈怠であつたやうにも思はれた。

かういふ感じを懷きつゝ私は今年の春日本に歸つて來た。歸つてから半月程經つた時、青年會館で東京電機及機械鐵工組合主催の労働者演說會が開かれる

と聞いて、私は踴躍して之に馳せ赴いた。入口の門を潜る時私の好奇心は絶頂に達してゐた。中に入つて私は先づ身動きもならぬ程の大入に驚かされた。労働者の集會に入場料を徴することは、これが最初の試みであつたさうであるが、此集會に臨むがため數十錢を惜まぬ人は私ばかりでないことが判つた。

高田和逸といふ青年が司會者として開會の辭を陳べた。當時私は此少年氣鋭なレーバー・リーダーに就て何も知る所はなかつた。唯その利かぬ氣らしい面魂と沈着な併し鋭い口調とが鳥渡私の注意を牽いたばかりであつた。

それに續いて十人ばかりの人がかはるゝ演壇に上つて、かはるゝ中止を命ぜられて引下つた。臨檢の監察官は眉目清秀な青年官僚であつた。若し辯士が「現在社會組織の破壊」とか、「資本主義の根絶」とか言つたやうな言葉を用ゐると、直ぐ此少壯官吏は殊更に落付いたやうな口調で、「辯士中止！」と叫んだ。其度毎に反抗の聲は聽衆の中から起つて、數十名の巡査は右往左往した。

私は其時さう思つた。此若い高等官が今夜自宅に歸つて、金モールの附いた制服を銘仙飛白の着物に着更へて、書齋の机に對した時、今夜彼が行使した所の絶大なる國家権力の一片を靜に回想して、自ら欺かれたやうな一種の空虚を感じずにゐられるであらうかと。

それから又程なく明治會館で開催された足尾銅山同盟罷業事件の報告演說會なるものが、強い磁石のやうに私を引つけた。驚くべき其夜の光景よ。それは只辯士と聽衆との討論會であつた。討論といふよりは惡罵と冷嘲との交換であつた。聽衆中の數名は警官の制止をきかずに、壇上の辯士に向つて咆哮したといふ理由で檢束せられた。聽衆中の一名は司會者に迫つて終に演壇に上り、「足尾の勝利は虚偽だ」と叫んだ。「何故直接行動をやらぬか」と叫んだ。そして「中止」の聲が懸かるまで所謂危険思想を撒布して息まなかつた。彼は社會主義同盟とやらの一員であつた。

…… 共同の目的を有して、手段を異にする者相互間の憎悪は、各々が共同の敵に對して有する憎悪よりも更に深刻であると、バートランド・ラッセルは説いてゐる。バクレーニンとマルクスの関係がさうであつた。戦時獨逸に於ける社會民主黨と獨立社會民主黨との関係がさうであつた。足尾争議以後のトレード・ユニオニストとソーシャリストの関係が亦さうであるやうに見える。

以上二回の經驗に依つて、私は日本の労働者集會の調子が甚しく歐米のそれと異つてゐることを知つた。それは警官と辯士との闘争場であり、辯士と聽衆との闘争場であり、時としては辯士と辯士、聽衆と聽衆との闘争場である。然りそれは集會場といふよりは闘争場といふ方が遙に適切である。其處には常に喧騒と紛擾と格闘とが支配してゐるばかりである。

それにも拘らず日本の労働者集會に對する私の興味はすこしも減退しない。私はそれに臨む度毎に、何等かの強い印象を受けないではゐられない。日本の

労働運動の現在及將來に對する或暗示を私は常に其處に見出す。私は初めてイブセンの戯曲を読んだ時味つたやうな、輪廓の不鮮明な、併し何者にか唆られるやうな不安な氣分を其處に味ふ。此氣分が私には又なく尊いものゝやうに思はれてならぬ。

さうした氣分が私を七月二十六日の青年會館へと導いた。

二 労働運動上のセンチメンタリズム

其夜の青年會館は例に依つて大入りであつた。いつもなら二階か下階の隅の方に陣取るのであつたが、ふと壇上に貼出された演題を見ると、「挨拶」として其下に來朝中のバートランド・ラッセルの名が掲げられてあつた。さては今夜此哲學者が此處に現はれるのかと思つたので、私は殊更下階の最前列から三行目に座を占めた。病後の哲學者の細い聲の聴き取れないことを慮れたからであつた。臨場の警察官の警戒の物々しさ。いつもながら私をして社會主義者鎮壓條例

勵行時代の獨逸を思ひ出さしめずには措かなかつた。

松岡駒吉氏は當夜の司會者として既に演壇に立つてゐた。私は此人に就ては多くを知らない。只彼が友愛會幹部中唯一の筋肉労働者上りの人であることを聞いてゐた。又同會内最近のインテリゲンチヤ排斥運動と共に、隱然同會内のプロレタリアの首領と目ざされてゐる人である事を聞いてゐたゞけである。彼は愛嬌のない、併し何處か人を牽き附けるやうな理智的な容貌の持主であつた。彼は日本の若い労働運動者の多くが勝れた雄辯家であるやうに雄辯家であつた。併し私の興味を唆つたのは、そんな事よりも彼に依つて巧に聽衆に訴へられた労働運動上のセンチメンタリズムであつた。

センチメンタリズムといふ私の言葉に對しては彼は不満であるかも知れない。彼は寧ろヒロイズムと言ひたい所であらう。彼の擧げた二つの實例——今次の阪神労働爭議中に起つた——の一つは、住友電線工場の罷業者中の幹部の

一人に關してゐた。彼は爭議に奔走して數日家に歸る暇がなかつた。彼の家族の一人は病臥して危篤を傳へられた。それでも彼は家族よりも爭議を重しとして顧みなかつた。爭議は次第に白熱化して一大示威運動が舉行せらるゝことになつた。數千の罷業者の行列が彼の住宅の前に進んだ時、彼の妻と妹とは行列の中に彼を見出して家族の死を報じ、切に歸宅を乞うて聲涙共に下つた。それでも彼は一步も行列の外へは出なかつた。

今一つの例はかうである。川崎造船所(?)の一職工は爭議の初め足の指に負傷して自宅に療養してゐた。一日會社の使用人は彼の家を見舞うて若干の金を贈つた。彼はこれを單純な見舞金と思つて感謝して受取つた。所が其金は實は會社が多數の職工の罷業参加を喰止めるための「買収金」と知れたので、彼の同僚は彼に返却を迫つた。併し其時彼は既に其金を費消した後であつたので、何うすることも出来なかつた。そこで彼は其友を裏切る意志の毛頭なかつたこと

を證明せんがために、悲壯な遺書を殘して自ら若い命を絶つた。

寔に悲しむべき事實である。松岡氏が此二つの事實を高調して労働運動を戯曲化しやうとした試みは成功でなかつたとは言へない。併し私は疑ふ、労働運動は本來斯くの如くセンチメンタルに處理さるべき筈のものであらうか。時としては群衆心理を煽る手段として、一種の芝居を行ふ必要もないとは言はない。足尾争議中八歳の小兒を壇上に悲泣せしめた事實の如きは、餘りに安價な脚色であつた。松岡氏の擧げた二例の如きは固より芝居ではない、嚴肅な事實だ。併し此事實を高調して群衆のセンチメントに訴へやうとする其態度、或はその作戦は日本の労働運動を純真な方面に指導する所以であらうか。労働團體が自ら要求するの権利ありと確信して一定の條件を傭主に提示した以上は、これを傭主及第三者たる公衆に是認せしむべき途は唯専ら彼等の理智に訴へることではなくてはならない。演説會も示威運動も唯其要求條件が道理上正當であること

を證明し首肯せしむる爲にのみ行はるべきである。それで十分な筈である。然るに労働運動が理智の範圍を脱して感情問題となる時には、其處に怖るべき危険の門が開かれることを覺悟しなければならぬ。道理を屈するに非常手段を以てする口實を敵に與へること即ちそれである。

労働運動にセンチメンタリズムは禁物である。

三 官憲の非常識？

松岡氏の後で、大阪電燈、住友電線、三菱造船、川崎造船の罷業團を代表する四職工が代る／＼現はれて争議の經過を述べた。彼等は何れも二十四五歳の青年であつたが、罷業團中の重立つた連中に數へられる人たちであるやうに思はれた。其質朴な風采から言つても、上方式の辯舌から言つても、東京の労働團體中の口利き仲間に良く見る様な學生上りらしい所のすこしもないのが先づ私に頼もしい感じを與へた。併し彼等の言論は案外巧みであつた。今日初めて

東京の土を踏んで、直ぐさま名にし負ふ青年會館の演壇に引ぱり出された彼等としては、寧ろ不釣合と思はれる程彼等は沈着であつた。殊に私の感服したのは彼等の述べた事件の経過なるものが、かういふ場合に有りがちなデテールを省略して、如何にも簡結に要領を得てゐたことであつた。そして徒に強がつたり、切齒扼腕したり、悲憤慷慨したりしないで、唯事實を事實のまゝ、太い線で描いて見せる手際は、確に足尾事件の報告會の辯士に優ること數等であつた。

彼等に紹介された事實の中で、彼等自身最も力説し、聴衆も亦最も意を動したのは、警察官が工場主側に左袒して、不當な壓迫を罷業者に加へたといふ事であつた。彼等の言ふ所に依ると、或所では警察官が罷業者を引致して、若し速に復職しなければ浮浪罪に問ふと言つて嚇した。又或所では平服の刑事が自動車を驅つて罷業中の職工を狩り出し、無理無體に工場に送つて、數日家に歸さなかつた。又或所では巡查が職工に變装して、工場の門を出入して軟派職工の

就業を誘引した。又或所では何等の理由なしに重立つた運動者に檢束を加へた。彼等は揃つて如何に官憲が罷業者に對し不條理な干渉を加へたかを反覆痛論した。彼等は喧嘩相手の工場主よりも、寧ろ官憲の態度に一層深刻な憤りを感じてゐる様であつた。彼等の一人は「公平に人民を保護するを以て任務としてゐるものと信じてゐた警察官は、其實資本家の狗であることを今回初めて發見した。」と叫んで忽ち中止を命ぜられた。

私は彼等の説く所が果して全部眞實であるか如何かを疑ふ。何となれば若しそれが事實であるとしたら、官憲側が餘りに非常識であるからである。私は内務省に於ける少壯官僚中に多數の友人を有してゐる。彼等は内外の労働運動に對して十分の同情と理解とを有する尊敬すべき人達である。かういふ人達がそれ／＼要位に就てゐる今日の内務省の監督の下に在る警察官憲中に、阪神罷業者が痛論するやうな非常識な行動を敢てする者があらうとは何うしても信ぜら

れない。併し若しそれが事實であつたとしたら、そして無反省に今後も繰返されるとしたら、それから必然結果すべき最も怖ろしい災禍を蒙るものは、大日本帝國の外にはあり得ない。

四十秒間の寛大

珍らしく静肅に、大した波瀾もなく過ぎて行つた其夜の會は木村錠吉なる五十二歳の中老人が、「阪神労働争議と階級闘争思想」と題して數言を述べるに至つて、忽ち青天の霹靂とばかりに俄然大混亂に陥つた。彼は前辯士が既に幾度か繰り返した「官憲横暴」の一例として斯ういふ事を言つた。「警察官は吾輩の住宅に踏込んで家宅侵入罪を犯したのであります。」彼が此一句を言ひ終るや否や、演壇の側にいかめしく控へてゐた錦町の警察署長は「中止！」と叫んだ。木村氏が此命令に服して即刻壇を降れば固より何事もなかつた。併し木村氏は直ぐさま此命令に服さないで暫時（恐らく三十秒より長くはなかつたであ

らう）沈黙の儘演壇に突立つてゐた。其理由は私の眼には甚だ明白であつた。此場合の中止命令が木村氏の右の一句に對して餘りに峻嚴なやうに感ぜられたからである。何となれば木村氏以前に登壇した四五名の辯士に許されたと同じ程度の寛大が木村氏にも許されるものとしたならば、右の木村氏の一句は決して中止命令を値する程の強さを有つてはゐなかつたからである。木村氏は何故に自分が中止を命ぜられたかを解し兼るやうな表情を以て暫時呆然としてゐたのであつた。聴衆も亦中止命令が少しく峻嚴に過ぎたことを感じたと思つて、「横暴々々」と連呼する者が少くも數十名はあつた。此時背後の司會者席に在つた松岡氏はやをら立ち上つて木村氏に近寄つて來た。彼の眉宇には困惑の色はあつたが、併し反抗的な不穩の光は表はれてゐなかつた。彼は無言まゝ指頭を動して木村氏に降壇を勧めるものの如くであつた。そこで木村氏は兩手を壇上に突いて首を垂れ「只今中止の命令を承けましたので……」と言ひかけた。その

瞬間、警察署長は附近を取捲いてゐた多数の巡査を顧みて、「引ずり卸せ」と命じた。忽ち数十名の巡査は壇上に突進した。彼等は木村氏のみか松岡氏までも手取り足取りして、突飛し、蹴飛ばしながら場外に拉し去つた。満場は總立ちとなつて諸所に巡査と労働者との亂闘が行はれた。叱咤、怒號、只狂亂の巷がまのあたり其處に出現した。そしてそれは鈴木文治氏が其巨軀を壇上に運んで「諸君！」と大聲一呼するまで十數分に互り繼續したのであつた。

私は聴衆の最前方に在つて、無言の裡に此一場の修羅場を細大漏さず目にし耳にした。私は確信を以て斯う言ふことが出来る。あの場合警察署長が「引ずり卸せ」の命令を發することを、今十秒猶豫することが出来たならば、あんな騒ぎは起らずに済んだのである。木村氏は命に服して降壇するの意志を確に有つてゐた。只彼は「降壇の辭」がほんの一句述べたかつたばかりである。司會者たる松岡氏も亦速に木村氏を降壇せしむべく立ち上つて來たに相違なかつた。

彼の表情が明にそれを私に示した。唯署長が其權力を行使するに十秒の寛大を有ち得なかつた事があの大紛擾の原因であつたのだ。勿論私は紛擾の責を署長に歸せんがために斯ういふのではない。十秒間すら猶豫せず其權力を行使することが、あの場合署長として取るべき當然の處置であつたのかも知れない。私は事の當否を論ずるのではない。只事實を擧げて結果を推斷するのである。

五 勇氣よりも忍耐力

鈴木文治氏は其巨軀と巨聲とを利用して、巧に此會合を紛亂の中から救出して、其處に秩序を恢復することに成功した。彼は他の労働指導者が到底企及すべからざる老練なる支配力を所持してゐる。彼の立派なる押出、彼の力強き辯舌、彼の柔剛併せ用ひる手腕、彼の學識、彼の調和力、彼の統率力、すべてこれ日本現代の労働運動者中容易に比儔を見出し難い材である。理想に猛進する勇敢決死の士は他に幾らも有らう。生一本に押通す痛快さは彼に求められない

であらう。併しながら労働組合運動に最も戒むべきは猪突盲進を避けることである。血氣に驅られて無謀な戦をすることは、只自滅を早めるに過ぎない。労働指導者に大切な資格は勇氣よりも忍耐力である。殊に日本の如き未だ芽生とも言ふべき微弱なる労働組合を、健全に育て上げる任務を有する人々は特に隠忍自重が必要である。大事にし過ぎて無力な虚弱な人間を造ることは固より善くない。併し無闇に運動を奨励して、一生不具廢疾者に終るやうな大負傷をさせることは尙更善くないのである。如何に鈴木氏の態度が不徹底であつたり、卑怯に見えたりすることがあらうとも、彼を失ふことは友愛會に取つても、日本労働運動に取つても、此上もない損害であると私は信ずる。

期待したラッセル氏は顔を見せなかつた代りに、鈴木氏を通じて、メッセーヂを東京の労働者に送つた。鈴木氏は先づそれを原文のまま朗讀して、次に自分の翻譯文を讀上げた。其時鈴木氏が原文中の「資本主義の崩壊云々」に續い

てゐる through Socialism と云ふ言葉を英語では朗讀しながら、譯文中から故意に省略したことが、彼の怜悧と臆病と、そして其等のものの背景をなしてゐる彼の常識とを躍如たらしめてゐるやうに思はれて、私は微笑せずにはゐられなかつた。

此鈴木氏が賀川氏に代つて神戸の爭議を指導するやうになつてから形勢は頓に緩和したやうに思はれた。そして無條件復職が宣言されたのはそれから間もなくであつた。

六 先驅者の悲哀

私は青年會館の一夜の出來事から、いろ／＼な聯想を喚起して日本現代の労働運動の内容を觀照しやうと試みた。惟ふに日本の現状程種々なる意味に於て労働者の立場を困難ならしめてゐるやうな例は滅多にない。彼等は戦ふにも困難であり、さりとて無爲に過すには餘りに熱情に富んでゐる。彼等が爭議中の

一時の亢奮から覺めて、靜に自己と環境とを見廻す時に、しみじみと感ぜざるを得ないものは、いつの世にも免れ難い、先驅者の悲哀ではあるまいか。

(大正十年八月)

九 支那の無産階級と其労働運動

一 覺醒せんとする支那の無産階級

現代の支那といへば南北の抗争か、排日運動か、山東問題の外には滅多に聯想し得ない吾日本人の多数に取つては、支那の労働運動といふ題目だけでも或は一箇の驚異であるかも知れないと思ふ。此世界の最老大國が、此産業上の未開國が、此卑陋なる生活に甘んずることの出来る無智の民衆に充ち満てる名ばかりの共和國が、今や歐洲に於てこそ其高潮に達したれ、米國に於ては之に追隨して未だ及ばず、日本に於ても近時漸く芽を吹いたばかりの労働組合運動を有するといふ事實は、寧ろ先進國に對する一種の僭越として感ずる人もあるであ

らう。併しながら戦後の四海に漲り來れる新時代の波は、極東に偏在する此老
大國の岸をも洗うて、そこに新しい魂を喚び覺さずには置かない。疑ふを休め
よ。多年土を喰うて生きてゐるかと思はれた露西亞のムジークの仲間からでも
世界の人類に經濟的解放を齎らさうとする抱負の最初の試練者が出現したでは
ないか。支那の國情は種々なる點に於て革命前の露西亞に似てゐる。そこには
華美を極めた生活を營む少數の富豪貴族と、豚の如く生活する無識なる多數の
民衆とがある。そこには緊張したる國民的自覺もなければ、社會的共存の觀念
も缺けてゐる。そこには頑迷な利己心に凝り固つた一團があり、無鐵砲なる雷
同性に富んだ群集がある。土地は廣く、交通機關は不備であり、自然利源に富
みながら、工業は尙頗る幼稚である。しかも此兩國は常に政治的にも經濟的に
も世界の全局面を左右する二大因子として何人にも閑却することを許されない
一種の僭勢力である。彼等の將來は共に大なる謎である。此謎は露西亞に於て

先づ解かれやうとしたが、實はまだ解けてゐない。支那に於ては尙更さうであ
る。従つて此際吾等が支那の無産階級の現状と其労働運動の萌芽がどんなもの
であるかを一瞥することは決して無用の業ではないと信ずる。何となればそれ
は幾年かの未來に於て、或は謎の支那を解決すべき鍵の提供者とならないとも
限らないからである。殊にそれは労働組合運動の國際化的傾向の急に著しくな
つた現代に於て、又英國も佛國も獨逸も靈西亞も、將米國も加奈陀も墨西哥も、
政治家と政治家とが相犇き、資本家と資本家とが相剋する間に、双方の労働者
の溫き手が握りかはされつゝある現代に於て、最も支那に隣接する邦土に棲息
する吾等の特權であり又義務でなくてはならない。

二 生活難と労働不安

世界的の一大疾患たる物價騰貴は支那のプロレタリアをも亦甚しく脅威して
ゐる。北方五省に亙る昨年の饑饉は食物の夥しい缺乏の原因となつた。中部及

南部地方に於ても米價は暴騰して、一擔邦貨二十五圓から四十圓に及んだ。戦前漢口宜昌地方では鶏卵一ダース十錢以下であつたが、今日では少くも其二倍はする。上海に於ける高等住宅は上下四室にして目下一箇年五百圓乃至七百圓であるが、之を二年前に比較すると約十五割の騰貴である。昨年の六月上海の大工は賃銀の値上を要求し、傭主は之に對して十二箇月以内に昇給するといふ保證を與へたけれども、彼等は生活費の激増を理由として即時の昇給を強請し、竟にストライキから暴動に訴へた。本年の六月にも江蘇省浦東の英美香煙公司の女工は生活費の暴騰と、煙草包装方法の變更に伴ふ所得減少に反抗してストライキを斷行した。

上海及其隣接地方に於ける労働不安が過激派の宣傳によつて一層煽揚されつゝあることは疑ふべからざる事實と認められる。尤も數年前から急進的な思想が高等學府の講堂内に侵入してゐるやうな疑ひは屢々あつた。併しそれが同國

の産業界に其影を現はしたのは、昨年十月十日、中華民國創立第九回記念日に當つて、上海に於ける勞農政府の代表者から労働階級を目あてに發せられた布告であつた。其要旨は(一)北京政府は資本主義の勢力の下に在つて民衆に對しては壓制の機關である。(二)共產主義の下に於てのみ支那労働者は眞の幸福を見出すことができる。(三)露國のプロレタリアは三箇年間の必死の奮闘によつて既に其目的を成就したが故に、支那の無産階級も亦之に倣ふべきであると。此過激派の宣傳は徐々として一部の下層階級に勢力を得て行つた。本年の二月丁抹に於ける支那公使代辨はモスコウ政府の宣傳部員が天津、上海、漢口、廣東に差遣された證左のあることを北京政府に報じて來た。其後間もなく「極東共和國」の符號を記したる自動車が一箇の星を染め抜いた赤旗を翻しながら、北京街頭を疾驅して市民の眼を驚かせた。それから以後政府は急に共產主義に關する出版講演を禁じ、且鑛山や工場に於ける欺瞞的の修身講話を取締るやうになつた。

「一方に於て戦時以來工業の急速なる發達は、労働に對する需要供給を潤澤ならしめた。過去二箇年間に楊子江の兩岸に建設された新工場は五十三、發電所は二十六、運輸會社は十八、紡績工場は十六、農事經營場十六、商館十五、鑛業所十二、漁業場三、其他八、其總資本額は一億五千萬圓に及んでゐる。大體に於て天津は北部の、上海は中部の、香港は南部の工業中心地と呼んで可い。他の諸都市に於ける新起の工業は、斷えず此三都の労働供給力を盜奪するの意味に於て、三都の工業に取つては寧ろ邪魔物の觀があつた。従つて昨年迄の好景氣時代には到處労働供給力は其需要を充すに足りなかつたがために、労働者は勢い過重の勞務を課せられた。其結果漢口に於ける製革工場の職工が増給を要求して、サボターヂユを斷行したやうな事件も起つた。

然るに本年の初めに至つて形勢は一變した。歐米に於ける一般的經濟界の沈衰は間もなく此國にも波及した。企業家は投資を差控へ、公衆は物資の購入を制限した。而して爲替相場の亂高下のみが徒に一部の人々の賭博心を刺戟するのみであつた。戦時中は銀一弗二圓を値したが今は其半額である。従つて輸入貿易は杜絶し、生産は激減し、労働は過剰を生じ、失業者は市に満ちて來た。例へば武昌に於ける製材事業の縮小から生じた失業者は三萬人、上海に於ける紡績業の縮小から生じた失業者は五萬人と傳へられてゐる。而して近き將來に景氣恢復の見込のないことは他の諸國と同様であることはいふ迄もない。

上記の如き産業界の浮沈から生じた一時の不安状態を離れて、更にもつと普遍的な考察に移るならば、元來支那民衆の少くも四分の一は文字通り赤裸々な無産者である。是等の肉體労働によつて其日の食物を稼ぐ外に生きる途のない下層階級が、多年地主や企業家によつてエキस्पロイトされてゐたといふ事情は、矢張他の諸國と同様であつた。然るに近年農村に於ける利子と地代との騰貴は先づ農業労働者に不安を起さしめた。地主は小作人に貸した資金からは

大抵一割三分から二割位の利子を徴する。従つて小作人が更に日傭取なる労働者を使ふ場合には、此利子を勘定に入れるがために、労働者に拂ふ賃銀はそれだけ値引される勘定となる。しかのみならず小作人が地主に拂ふ高は収穫高の四割乃至五割を普通とするがゆゑに、小作人は地主から誅求せられ、労働者は又小作人から誅求せられる結果となる。そして地主だけが益々其富を蓄積するのである。

都市労働者の状態も亦之に異ならない。例へば上海の人力車夫は總數約三萬五千人であつて、晝夜に分れて働く。彼等の營業區域は三部に分れてゐて、全市は十圓、佛租界は六圓、支那街は二圓の免許料を支拂はなければならぬ。但此料金は車臺の持主の負擔で、彼等は黄包車公會と稱する同業組合を形造つてゐる。此組合には更に下受負人があつて、車を車夫に賃貸する。其賃貸料は全市では一日一圓七十錢であつて、一圓四十錢は組合の収入となり、三十錢は下受

負人の所得となる。佛租界では一日一圓で、八十錢は組合に、二十錢は下受負人に分たれる。支那街では一日七十錢で、六十錢は組合に、十錢は下受負人に分たれる。そこで車夫は乗車賃の中から日々此高い賃借料を支拂はなければならぬのであるから、乗車賃の安い支那に於ける彼等の生活は甚だみじめであつて、之を常職とすると十年以上生きることがはむづかしいとさへ言はれてゐる。即ち彼等は資本家たる車の持主と、中産階級ともいふべき下受負人によつて搾取されてゐると見られるのである。

上海に於ける女中奉公も亦類似の境遇にある。下婢は重に蘇州、揚州、安慶地方から出て來るのであるが、彼等の大部分は桂庵の手を経るので法外な周旋料を食られるのみならず、日本にない慣例として、勤續期間中引續き傭主下婢双方から給料二割に相當する報酬を取られるのである。

支那の無産階級は亦出產過多のために悩まされてゐる。十年前中央政府の報

告によると、家族の平均兒童數は支那本部に於て五人五分、滿洲に於て八人三分と推算された。此數字は信を措き難いけれども、貧乏人子澤山の諺は歐米にも日本にも當てはまるやうに、支那にも當てはまるに相違ない。然るに工場労働の平均賃銀は目下一日九十錢、苦力は五十錢内外に過ぎぬのであるから、妻は内職をし、大きい子供は多少の勤勞に服したとしても、彼等の日常生活のむさくるしさは想像以上である。

三 労働團體

支那各地に於ける工場労働者にして、何等かの工人聯合會(労働組合)に加入してゐる者は目下約二十萬くらゐかと稱せられてゐる。彼等は賃銀値上又は雇傭條件改善の運動に多少の訓練を有し、且既に若干の効果を収めた經驗さへ有つてゐる。之に次いで、鑛山及鐵道従業員にして工人聯合會に屬する者約十八萬と唱へられる。農業労働者の團體に至つては固より言ふに足りない。

本年の春長沙地方で次のやうな事件が起つた。當時兌換券の暴落のために米穀に對する需要が急に減じて、其相場も亦崩落した。そこで同地方の大地主は此打撃を出来るだけ緩和する策として、地方の官憲に迫つて賃銀の支拂は通貨に代ふるに米穀を以てしても差支ないといふ布令を發布せしめた。之がため労働者の實際所得は忽ち激減を來したのであつた。其結果同地方の労働者は組合を通じて新賃銀制度に猛烈なる反抗を試みたけれども、官憲と富豪との提携したる鎮壓手段のために其目的を果すことはできなかつた。併し此事件のために同地方の組合運動は著しい刺戟を受けて、其發達を促進したさうである。

現時最も注目すべき特種の労働團體は、戦時中苦力として佛蘭西に渡航した者によつて組織されたる歸國華工聯合會である。同會の發表したる目的と決議と要求とは次の如きものである。

目的——本會の主たる目的は團體交渉權を獲得し、同志協力して知識を増進

し、相互の親睦を厚くするがため、労働階級の團結を圖るに在り。

決議——本會會員たる者は飲酒、遊蕩、賭博を禁じ阿片を喫することを得ず。

要求——本會は雇傭條件改善の目的を以て同盟罷業をなすの權利並に労働者

共同の福利を増進するがため、集會、結社及言論の自由を要求す。

即ち此團體の特色は一面經濟的であり、一面道徳的であるけれども、政治問題には容喙しないことを以て方針とし、全國學生聯合會等の排日運動にも参加するを欲しない。それかと言つて佛蘭西のサンチカリズムの流を汲んでゐる譯ではなく、寧ろ獨逸、伊太利の基督教労働組合のやうに専ら穩健なる經濟運動を主義とするものゝ如くである。

唐山工人聯合會の沿革は支那の労働組合發達史に特種の地位を占むべきものである。直隸省の唐山は明朝の末期から既に石炭の産地として知られてゐたが、十九世紀の後半に至つて、西歐の新機械を率先採用したものは恐らく唐山煤

礦が第一であつた。同煤礦の労働者は近在の土民が大部分を占めてゐたので、自然彼等の間に一種の自治的な團體が生れて、宗教的禮拜を共にする外に、何か事ある時の會議機關ともなつた。二十世紀に入つてからも此團體は次第に膨脹して、獨り唐山のみならず他地方、他産業の労働者をも抱擁するに至つた。就中京奉鐵路や開平煤礦従業者の約六分の一は廣東人から成つてゐたので、彼等は主として地方人から成つてゐる右の團體から離れ、別に廣肇公所なるものを新設し、南方人のみを糾合して別に一旗幟を立つるに至つた。そこで一方の北方人は廣東人を除いた爾餘の同僚と共に唐山工人聯合會なるものを組織し、茲に南北對峙の形勢を現出するに至つたのである。而して唐山工人聯合會は共和政府の成立後次第に其勢を加へ、何時しか工黨(労働黨)とも聯絡して政治運動にも参加したやうである。然るに先年學生ストライキ以後、京奉鐵路の機械工場従業者は、自分等の雇傭條件改善を目的として、別に京奉鐵路工人會を組

織し、暫くして又開平礦務公司の被傭者も其例に倣うたので、唐山工人聯合會は大分其會員を減じた。併し今尙約三萬の會員を擁し、近時會員の教育的方面にも力を竭して支那に於ける階級闘争上の一勢力たらんとしてゐる。

四 同業組合

支那に於ける勞働不安の將來に對し、閑却することの出來ない顯著な一事實は、各地方各種の商工業の間に發達してゐる同業組合の組織である。元來支那の如き經濟上官權の力の微弱な國に於ては、商工業者の自治的團體が割合に早く且鞏固に發達したことは寧ろ自然である。一八八三年漢口に於ける茶輸出業者たる支那商人と、其顧客たる英國商人との間に、茶の品質及重量に關する違約問題から惹いて、双方の大紛議を醸し、支那商人の同業組合が一致して英國に對する茶の輸出を拒絶したゝめに倫敦に於ける茶の暴騰を來し、在支英國商人は大損害を蒙つた。此事件の如きは、以前から同業組合の勢力の侮るべから

ざるを示す一例である。近年には湖南、湖北、安徽、江西の諸省に亙る揚子江岸の鹽の商人によつて組織されてゐる同業組合が、鹽の製造及運搬業者の組合たる鹽運局との間に確執を生じて、終にボイコットの力によつて同局を解散せしめたやうな例もある。

右の如き同業組合は各地方各種の産業を通じて、多數組織されてゐるのであるが、其組織の概要を知るために一例として杭州茶業會を挙げやう。同會に於ては毎年一回會員の互選によつて十二名の執行委員を設ける。是等の委員は無給とし、毎月交代で一名づつ會務を監掌する。其下に一名の有給の事務主任がゐて常務を處理する。同會に加盟しやうとする者は先づ六百圓の入會金を支拂つた上、毎年會則による會費を負担しなければならぬ。而して同會の會員たる者は自己の營業上次の如き規約を遵守するを要する。

(一) 會員は本會に於て議定した價格以外の價格にて賣買することを許されな

5。

- (二) 會員は隱密の取引によつて同業者に損害を與へてはならない。
 - (三) 會員は爲替手形の日附を偽記してはならない。
- 如上の規約に違背した者は罰金を課せられ、其情重きものは會員總會の決議によつて除名される。

同會の組織の上に重要な點は、其會員が個人ではなくして會社、工場、店舗其他一個の事業所であるといふことに存する。是等の事業所は言ふ迄もなく、傭主と被傭者と徒弟とから成立つ。而して傭主も被傭者も共に總會に出席して決議に加はることができる。但此場合傭主と被傭者との間には完全な協調があつて、意見を別にするやうなことは先づない。若しあれば他の場所に於て解決される。徒弟は一人前の被傭者になつた後でなければ固より會議に參與することは許されない。

何れの同業組合でも女子は習慣上之に關係することは許されない。蕪湖の錢莊會館(銀行組合)の如きは會則に之を明記してゐる。但針製造及紡績の如き女工が大部分を占める事業に在つては、次第に女子の参加を認めることに傾いてゐる。

同業組合は直接官權の干渉を受けない自主的團體であるけれども、其統制は殆ど完全に行はれてゐて、支那人が民主的性能に優れてゐることを示すものである。組合の議定して布告する事項は事業の關係する範圍では法律と同じ程の權威を有する。例へば組合員相互間の競争を防ぐために毎日のやうに組合本部から發表する相場付の如きは、組合員に對する絶對的の遵奉を要求するものであると同時に、第三者たる商人及公衆も總て之に服さなければ取引をすることができない。若し組合員にして秘密に右の相場付よりも高く或は低く賣買したならば組合から除名の制裁を覺悟しなければならぬ。之は比較的微力な組合員

を有力な同業者の壓倒的競争から保護する制度であると同時に、特別の勉強によつて自家の販路を開拓しやうとする新進の商人に對する束縛ともなることは勿論である。

同業組合は又一面組合員の共済機關ともなつてゐて、本人及家族の病氣其他不慮の災難に際し、相當の救助をすることになつてゐる。

支那の同業組合は、それに加盟してゐる商工業の傭主被傭者双方を抱擁して居る點に於て、又それが一種の災厄共済制度をも具へて居るといふ點に於て、日本の同業組合とは性質を異にし、寧ろ歐洲中世のギルドに似たものであることは何人にも直に觀取される事實である。従つて之が支那の勞働運動に對して有する効果は今日重要なる過渡期に立つてゐると考へられる。何となれば過去に於て支那の同業組合は被傭者が組合の規律を遵守し其傭主に對して忠實である限り彼等に日常生活費の保證を與へ、同時に地方官憲の横暴や、外國企業者

の壓迫から彼等を保護してゐたのであるけれども、近年外國資本の輸入によつて産業組織が次第に大規模となり、一工場に就業する被傭者の數は益々増加し同時に彼等の團結したる對傭主運動が頻發するやうな状態に立ち至つた以上は、今後の同業組合が到底此種の被傭者を抱擁し得ないことは自明の理であつて、他の先進國に見るやうな傭主、被傭者各別の團體組織が促進せられ、そこに階級的對抗の勢を現出するに相違ないと思はれるからである。

従つて被傭者に對する同業組合の意義は、今後支那に於ける工業の發達状態によつて直接支配さるべき問題であらう。

五 同盟罷業

支那の勞働爭議の題目は如何なる國に於ても勞働運動の初期に於てさうであつたやうに、増給問題に限られてゐると言つて可い。昨年四月香港に於ける約九千の支那苦力の同盟罷業は、僅か數名の職業的煽動家によつて勃發されたも

のであつたが、其名目は増給に在つた。上海附近に於ける一般の増給運動は昨年六月上海の英美電車会社が車掌及運轉手等に對して一箇月四圓、其他の職工に對し二圓を増給したのと、祥豊麵粉会社が被傭者に一箇月二圓の増給を發表したために誘發された傾きがあつた。その結果上海に於ける約一千人の廣東大工は日給九十五錢から一圓二十錢への値上を要求して四日間のストライキを行し、形勢一時重大であつたので、前述の廣肇公所は三名の調停委員を派遣して、約一週間に亙る談判の後、傭主は一日一圓までの増給を承認して漸く局を結んだ。本年三月上海の佛蘭西電車会社の被傭者は全部結束して(一)即時二割の増給をなすこと。(二)上海電氣工廠の例に倣ひ毎年末に賃銀一箇月分の賞與を支給すること。(三)車掌及運轉手病氣の際の醫藥費は會社より支辨すること。(四)被傭者處罰規則を改正すること。(五)労働時間を減少すること其他八箇條の要求を提出した。然るに會社側は、増給以外の要求條件は全部之を容れたけれども、

増給だけは即時に之を實施することの不可能なるを回答したので彼等は直に同盟罷業の舉に出で、隊伍を組みめて市中を練り歩き、示威運動を行つたけれども、粗暴な言動は決してなかつた。罷業後四日目に至て、會社は心ず近い將來に増給するといふ證言を與へたので彼等は漸く業に復した。

中央政府財政難の影響として、本年三月北京に於ける官立學校八箇の教員千五百名は俸給の不拂を理由として同盟罷業を斷行し、一種の聯合會を組織して政府に迫り、傍ら輿論の同情を求めるとの宣傳を行つた。

例の最後通牒以來排日運動を目的として起つた全國學生聯合會も亦何時しか労働不安の煽動的勢力として働いてゐる。女子就業者の多くなるに伴れて一種の婦人解放運動も一部の急進思想家によつて開始されてゐる。併しそれよりも一層眞面目に考慮すべき價值があると認められる一事件は、本年夏上海の洪盛紡紗廠が次の如き雇傭條件を公示して、湖南省に女工の募集を始めたのに對し

て、上海及長沙の新聞が反對運動を行つたことである。其雇傭條件といふのは、
(一)一日就業十二時間。(二)一箇月最低賃銀十六圓。(三)雇傭契約期間三箇年以上といふ三箇條である。而して之に對する新聞の反對論は主として増給、寄宿舎、オーヴertime等に對する保證を缺いで居るといふ點に在つた。今夏上海に於ける雜誌『新青年』の主筆陳獨秀氏は、同地の有力なる労働團體の一なる工業協會に臨んでかういふ演説をした。「今や人類は労働は商品にあらずといふ眞理に目ざめつゝある。労働者の肉體と健康と安全とは、資本家と社會との双方から十分保護されなくてはならぬ。」

支那に於ける無産階級の運動が専らインテリゲンチヤの熱心な指導の下に擡頭しつゝある事情は、日本と全く同一だと言へる。只彼等は其無産なる點に於ても、無識なる點に於ても、日本の労働者よりは遙に低級である。従つて彼等は一層煽動され易い代りに、又一層自覺ある鞏固な團結を成し難いとも想像さ

れる。併し又一方から言へば、彼等は中央政府の威令が行はれず、地方官憲も微力であるがために、言論、結社、其他團體運動の自由にして拘束の少い點に於ては日本の労働者よりも遙に多くの便利を有つてゐる。従つて若し彼等の間に露西亞に於て見るやうな卓越したる大指導者が出現するならば、案外燎原の勢一朝にして社會的大變革を持來さないとも限らない。惟ふに日本人としての常識から、支那の無産階級の心理と行動とを律することは甚だ難い。そこに支那と支那人とに對する興味と懷疑との大部分が懸つてゐると私は思ふ。若し萬一支那が赤化して勞農露國と提携するやうな事態が発生したとするならば、吾日本の帝國主義と資本主義とに取つては、英米の連衡にも劣らぬ一大脅威でなくはならない。

(大正十年十二月)

十 カーネギーホールの一夜

一 カンサス工業裁判所法

一九二〇年五月二十八日の夜、紐育市最大の公會堂カーネギーホールは、立錐の地もない程の大入満員であつた。それは名にし負ふ米國勞働聯合會々長サミューエル・ゴムバースと、壯年政治家として名噴々たるカンサス州知事アレンとが一騎打の公會討論を傍聴して、末代までの語草にせんものと、物見高いヤンキーがホールも破れよとばかりに詰め寄せた爲であつた。

アレン知事は新聞記者出身ではあるが、近時俄に其名を知られた新進氣鋭の共和黨員で、既に將來ホワイトホールの主人公を夢みてゐるとさへ傳へられた

程の野心家である。彼は戦時中米國赤十字社の理事者として、歐洲の戦場で活動してゐたが、歸國すると間もなく郷里カンサス州の知事に選舉せられた。彼の燃え立つ功名心は其切れ味を示すべく先づ第一に勞働問題を狙上に載せた。それは當時カンサス州の炭坑に激烈なストライキが續發して、州民の日常生活は爲に屢々危機に瀕してゐたからであつた。彼はストライキを禁遏する手段として工業裁判所法なるものを案出し、一九二〇年の一月難なく州議會を通過せしめて之を發布した。其要領は左の如くである。

一 本裁判所判事は三人とし、州議會上院の推薦又は承認した者の中から知事が之を任命し、其任期は一箇年とす。

二 本法の適用を受くる者は左記の事業に關係せる人及會社とする。

飲食物の製造又は調理。

被服類の製造。

強者にも弱者にも

二八二

一切の燃料の採掘又は生産。

生産物の遠距離輸送。

其他の公益的事業。

三

本裁判所は左に定むる趣旨に従うて諸工業の經營、労働者の雇傭、公益的
事業及諸運搬機關の作業を監督、指導又は制限するに必要な一切の權
能を附與せられる。

(イ)各工業は合理的なる繼續及能率を以て操業せらるゝことを要する。

(ロ)前項に關して傭主被傭者間に爭議が発生したときには、本裁判所は
自己の發意に依り又は當事者の申告若くは當該事業地に於ける十名以
上の納稅者の申請に依つて、該爭議に關する一切の事情を十分研究し
宣告又は命令を以て該爭議を審判及調停することが出来る。

(ハ)本裁判所の判決に従うて六十日間操業した後でなければ當事者双方

とも其再審を申告することはできない。尤も此場合に前の判決の不當
を主張せんとする者は自身其證據を提出することを要する。

(ニ)若し當事者双方が本裁判所の判決に服することができない場合に
は裁判所は之を州の高等法院の審理に移すことができる。此場合に於
て當事者は十日以内に高等法院に上告の手續を取るべきことを本裁判
所に請求することが出来る。

(ホ)労働者は正當なる賃金を取得し、傭主は正當なる利益を取得すべき
ものとする。

(ヘ)労働組合又は其他の労働團體と傭主との間に於ける團體交渉權は許
容せられ且獎勵せられなければならぬ。茲に所謂労働團體とは組合と
して完全なる組織を有つてゐなくとも、其代表者又は委員を選任して
之を文書の上に表示したるものは其中に含まれる。

(ト) 傭主は其被傭者が本裁判所に告訴を爲し又は傭主をして本裁判所の審問を受くるに至らしめたといふ理由を以て、其被傭者を解雇することとは許されない。

(チ) 各事業の經營者は生産額を制限したり價格を騰貴せしめたりする目的を以て操業を短縮し又は停止することはできない。若し其必要のある時には豫め之を本裁判所に申請して許可を受けなくてはならない。

(リ) 如何なる團體と雖も事業の運轉を妨害するが如き行爲を爲すことを許されない。又各個人は同様の目的を以て他人と通謀し若くは他人を脅迫し又は他人の就業を阻止することを許されない。

(此條項が同盟罷業の禁止を意味するのである)

(ヌ) 罰則(省略)

(ル) 公共の安全を危殆ならしむるが如き非常の場合には、本裁判所自ら

直接に事業を監督又は經營することができらる。

(ヲ) 第二條に掲げてない工業に於ても、其賃金、時間、作業及生活條件等に就いて争議が発生したるときには、双方の合意及本裁判所の承認を経て、本法に依り其審理及判決を爲すことができる。此場合に於ては本裁判所の判決は當事者双方に對し拘束力を有する。

右のカンサス工業裁判所法は米國に於ける労働法制上に一新機軸を出したものである。何となれば從來米國に於ける労働争議の裁定機關としては、傭主被傭者双方の選任に係る代表者と、其代表者の協議に依つて更に選任したる局外中立者とを以て組織する仲裁和解局なものを設けるのを各州の定例として居たに拘はらず、カンサス州の新法に在つては知事任命の判事が労働争議の審問判決上の権限を有し、且つ同盟罷業の禁止を以て其主義とするものだからである。

右の新法が一度公にせらるゝや是非の世評頗る喧しく、殊にゴムバースを首

領とする米國労働聯合會を初めとし、各種の労働團體及之に同情を有する新聞雑誌は擧て本法を攻撃し、之を以て個人の自由獨立を本分とする米國本來の民主的精神を蹂躪するものであるとして、極力其實施を阻害しやうと試みた。一方労働者側に同情を有しない一般の言論機關も、本法の趣旨とする所即ち同盟罷業に原因する公衆日常生活の安寧を擁護しやうとする精神には固より協賛を惜まなかつたけれども、斯の如き法律が果して有効に實施されるかどうかにかんじては何人も之を豫斷するのに躊躇するの情があつて、概して言へば本法は労働者側にも資本案側にもアレン知事の豫期したやうな好評を勝ち得ることが出来なかつたのである。

茲に於て豪邁なるアレン知事は、自ら此法律が公共の安寧を保護する上に最も必要で、且時宜に適した新立法である所以を力説して、直接之を米國民の輿論に訴へ、是非を一擧に決しやうと思ひ立つたのである。そこで米國労働聯合會

長ゴムバースに對して本法の是非得失に關し公會的討論をしやうといふことを申込んだところが、負けぬ氣の老ゴンバースは直に之を快諾したのである。

二 「國土」と「荒物屋の亭主」

労働界の大立物と一州の知事とが紐育市の真中で一騎打の大討論をやるといふことは、珍らしい物なら何でも御座れの米國に於ても、前代未聞の出來事であつた。此事が一度公にされると忽ち世間の大評判となつた。そこで双方とも大に慎重な態度を取り、先づ十名の實行委員と二十八名の名譽委員を選び、ゴムバース、アレン双方から半数づゝを出して種々協議を凝らした上、米國の協調會ともいふべきナショナル・シビック・フェデレーションの會頭パーカー氏を當日の司會者に推舉し、會場はカーネギーホール、時日は五月二十八日午後八時からと決定した。尙當日は聴衆の殺到と場内の混雜を避けるために特に入場券を持參した者に限り傍聴を許すこととし、此入場券は双方半数宛を發行

して、飽くまでも公平を期したのであつた。

私は労働問題研究者として、此大討論を聞き洩らしては冥利に盡きると考へたので、丁度其前日米國労働聯合會紐育支部長で、同時にゴムバース側の討論會實行委員の一人たるフレーション氏を訪ねて、切に一葉の入場券の交附を乞ふた所が、幸に同氏は残り少なくなつてゐた入場券の中から、一枚を私のために割愛してくれたのであつた。

いよく其當夜、私はブロードウェイの小料理店で手輕な晚餐をすまして、すこし早目にカーネギーホールに出かけて見ると、さしにも廣い大會堂も大方満員になつてゐた。併し入場券には一々席次を記してあつたので、私は案内人に伴れられて容易に自分の席に就くことができた。驚いたことには其席といふのが演壇の上にあつて、演説者を背後から見るといふ不便はあつたが、そのかはり廣大な會場を一目に見渡すと共に、此貧薄な面相を一萬の聴衆の前にまともに

さらすといふ餘興的な光景でもあつたので、私は忠臣藏の序幕の並大名——いや其草履取くらゐの恰好で、臆面もなく其處に低い肩を怒らしたのであつた。

丁度八時になると満場の拍手に迎へられて先づゴムバースが多數の幕僚を隨へて演壇上に其姿を現はした。翌朝の紐育トリビュンは「國士的風格」として彼の相貌を形容した。併し私の席から彼の大きな後頭部を眺めると、それは臺灣坊主式に見事な地圖を描いて、其海に當る所はテカ／＼と藥罐色に光り、陸に當る所はモジャ／＼として落葉松の林に雪の降つたやうな觀があつた。續いてアレン知事がこれも澤山の友人に取圍まれつゝ、拍手の間に壇に上つた。紐育トリビュンは彼を「荒物屋の亭主」のやうだとひやかしたが、無髯にして豊頬、しかも精悍の氣溢るゝばかり、背の高い體に黒のモーニングといふいてたちは、背の低い脊廣服のゴムバースとの比較に於て、ブルジョアとプロレタリア、紳士と労働者を對照するに十分であつた。

アレン知事に伴つて壇上に現はれた人々の中にはコロンビア大學總長のバツトラー氏、當時大統領候補者として相當呼聲のあつた、米國隨一の人気者バーバート・フーバー氏等も交つてゐた。フーバー氏は着席する前に鳥渡振りかへつて私のゐた方を見たので、寫真で見慣れた其溫雅な風采によつて私は直ぐにそれと知つた。彼は今ハーヂング大統領の下に商務卿として令聞がある。

三 同盟罷業禁止の是非

當夜の司會者たるバーカー氏の簡単な紹介に次いで、先づゴムバースが立つて約四十分に亘る熱辯を振つた。すると代つてアレン知事がやはり四十分間雄辯を振つた。急所々々に起る拍手喝采の聲は双方とも量に於て同一であつて、成程入場券が公平に折半せられたことを證據だてた。アレン知事が退くと又ゴムバースが現はれて約二十分間論じる。すると又アレン知事が立つて二十分間論じる。續いてゴムバースが十五分間、アレン知事が十五分間、最後にゴムバー

スが五分間、アレン知事が五分間で此大討論は終結となつた。即ち一方が棄權しない限り、双方に對して公平に同一時間の辯論の機會を與へるといふ約束の下に、双方からタイムキーパーを出して、嚴重に機會均等を勵行したのであつた。

翌朝紐育で發行せられる大小の諸新聞は、いづれも當夜の光景を報道するために全一ページの紙面を惜まなかつた。今双方の主張の大要を左に摘録しやう。先づゴムバースは立つて左の意味を述べた。

地球上何れの國何れの時代に於ても、より善きより幸福なる生活を得んがためにする鬭争の絶えたることはない。而してその鬭争を禁止しやうとする政策は常に盡く失敗に歸した。何となれば自己の生活を善良幸福ならしめんがためにする鬭争は人間本然の希望に根ざせるものだからである。

奴隸と自由人との區別は、奴隸はその主人の意志の儘に勞働し、自由人は自

己の欲する時その労働を中止し得る點にある。自己の意志に反して労働しなければならぬやうな強制的任務の下に在つては、人は決して自由であるといふことが出来ない。

同盟罷業を禁止しやうとするのは現代人をして再び奴隸的境遇に逆行せしめやうとするものに外ならない。これ我が合衆國民傳來の自由を奪はふとする暴君的制度でなくて何であらう。斯の如くであるならば我が共和政治は廢り民主的精神は亡びてしまふであらう。

米國に労働組合なく同盟罷業が無かつたならば、僅に五六歳にして一日十二時間乃至十四時間を工場に労働し、六七歳にして暗黒なる坑内勤務に服せしめられた吾人の少年少女の運命は果して何うであつたであらうか。炭坑及工場から少年少女を救うて教室と運動場とに移したものは即ち同盟罷業の力ではなかつたか。各州をして婦人及小兒の苦役を禁止するの法律を作らしめたのも亦同

盟罷業の効果ではなかつたか。

次にアレン知事は立つてかう論じた。

余は今日カンサス州に於ける一般公衆の代表者として茲に來たのである。余は炭坑の同盟罷業に際して、坑夫中自ら就業しやうとしても、労働組合幹部の壓迫に依つて餘儀なく罷業したと公言する者の尠くないのを見た。余は労働者から罷業する権利を奪はふとするのではない。余は單に労働者の就業を阻止するの権利をゴニバース氏から奪はふとするに過ぎないのである。

余が工業裁判所法を制定しやうとした際に労働者も資本家も之に反對を試みた。労働者は曰く之は強制的勞役であると。資本家は曰く之は國家社會主義である。元來労働と資本との闘争は兩者の私闘である。しかも其ために公衆は日常生活の安寧を阻害せられるのである。之は公衆として忍ぶ能はざるところである。公衆の代表者たる政府は勞資の私闘によつて公衆が不當にその安寧を

脅迫されるのを防止するの責任を盡さなければならぬ。併しながら此新法律は決して勞資のいづれにも味方するものではない。同法は團體交渉を禁止しない。又労働者の組合組織にも干渉しない。傭主被傭者間の契約は固より之を尊重すべきである。唯此法律は傭主が被傭者の賃金値上の要求を抑壓するがため若くは公衆に對する生産品の賣價を釣上げるために事業の運轉を制限することを禁止した。此點に於て此規定は労働者の利益を擁護するに足るものである。而して又同法は労働者に命ずるに公衆の日常生活に必要缺くべからざる物資の生産を停止してはならないことを以てした。これ世界最古の法律たる羅馬十二律の一たる「公衆の安全は至高の法則なり」といふ精神に基けるものである。

余はゴムバース氏が左の質問に明答を與へられんことを望む。

「資本労働間に爭議發生し、其結果生活必需品の生産又は配給を阻害するやうな同盟罷業が勃發して、公衆の安寧を脅かし其健康を維持することができない

やうな場合に立至つたときには、公衆は進んでその爭議に關與する權利を有すべきであるか、それとも資本労働間の私闘として公衆は何處までも傍觀して居る外はないものであるか。」

若しゴムバース氏が公衆の爭議關與權を認むるが如き答辯を與へられるならば、余は更に次の間に併せ答へられんことを望む。

「貴下は此場合如何にして公衆の權利を庇護せんとするか。」

斯く叫びつゝアレン知事は自ら右の質問を記したる紙片をゴムバースに突付けて壇を下つた。

再び登壇したるゴムバースはアレン知事の右の質問に對しては「若し時あらば之に答へやう」と言つて即答を避けた後、左の如く論じた。

アレン知事よ、乞ふ安心せられよ。余は生來未だ曾つて自ら同盟罷業を命令したことはない。余は此際寧ろ知事が同盟罷業は法律上の犯罪なりや否やの根

本問題に對して明答せられんことを望む。これが全問題の楔子である。若し犯罪でなければ最早討論の必要は存しない。罷業者は暴行者ではない。唯手を拱いて作業場を立ち去るに過ぎないのである。法律は果して之を犯罪とすることが出るのであらうか。數箇月前獨逸の反動的帝政派内閣を倒したものは實に獨逸労働者の同盟罷業ではなかつたか。若し一朝我米國に專制政治を敷かんとするクーデターが勃發した時、カンサス州の労働者が之に反抗して同盟罷業を爲したならば、アレン知事は果してその罷業者を罪人として獄に投ずるの勇氣があるかどうか。

爰に於てアレン知事は重ねて論じて曰く、

資本労働の闘争は單に私闘である。政府は之を承認しないけれども其責任は結局政府が之を負はなければならない。此故に政府は人民を保護し且公正にして偏頗なき審判を與へて勞資闘争の弊害を救治するの權限を有しなければなら

ない。ゴムパース氏は罷業者の權利を主張して就業希望者の權利を無視してゐる。強制労働を非とするならば何故に強制罷業をも非としないのであるか。若し社會生活上強制の已む能はざるものがあるとするならば、政府をして強制力を所有せしむるを以つて最も至當としなければならぬ。

更にゴムパース立ち更に知事立ち、前述の趣意を反覆して相下らず、遂に豫定の討論終結時刻の午後十一時半に至つて此大論戰の幕は閉ぢられたのであつた。

私は極度に昂奮した頭を、地下鐵道の急行電車で揺られながら、百二丁目の下宿に急いだ。

(大正九年六月)

十一 I・W・Wに悩める老職長

一 發熱を忍んでビュート鑛山へ

米國合衆國の北邊、加奈陀との國境に遠からぬモンタナ州のビュートは二つの意味に於て米國では著名の一市である。一つは同國屈指の大銅山の所在地として、一つは最も過激なる勞働運動の一策源地としてである。

私がモルモン宗の大本山として誰知らぬ者もないユータ州のソルトレーキ市を前日の午後二時に發つて（念のためにお断りして置くが、私が同市を訪ねたのは別段モルモンの御本尊に祈願の筋があつたからではなく、ユータ銅山會社の採鑛冶金工場に於ける勞働者待遇方法を見聞するためであつたので）ビュート

トに着いたのが翌日即ち一九二〇年五月七日の午前五時であつた。黒奴のポーターに當市第一の旅館と教へられたソントン・ホテルに到着して朝飯を食つたが、ユータ以來の發熱が一向去らないので、氣の重いこと甚しい。併し藥を飲んで寢てしまふのも折角の一日を惜しいやうな氣もするので、九時になるのを待つてホテルから程遠からぬアナコンダ銅鑛會社の本店へ出かけて行つた。重役のグーデル氏は心臟病で引籠つてゐるとかで、年の若い採鑛部長のバーリン氏に面會した。そして同鑛山の操業の概要や鑛夫の待遇に關する一斑の事情を聽取つたが、其時始めて知つたことは、丁度其朝から同鑛山にストライキが起つて、仕事は殆ど全部休んでゐることであつた。道理で此處へ來る間の街路に、日曜日でもないのに、往來で用なしに佇んで雑談に耽つてゐる勞働者の群の多かつた譯が分つた。「それは寔にも氣の毒ですね。」とは言つたものゝ正直な所は腹の中で「こいつは面白いわい。」と思はざるを得なかつた。勞働

研究のために遙々日本から出かけて来た自分としては、無事太平な見物ばかりでは物足りない。何がな事あれかしといふ彌次的心理を抑へるわけに行かないことは改めて白状するまでもなからう。殊に此地は名にし負ふ危険地帯で、労働争議といへばいつも負傷人、人殺しの二件や三件なくては収まらぬ所と聞いてゐたので、事に依つたら土産話に持つて來いの大活劇が見られるかも知れない。

是非鑛山を拜見致したいと申込んでバーリソンの承諾は得たが、今日は都合が悪いから明日にしてくれ、レオナルド探鑛主任のベンネット氏に電話で豫報して置くから、明朝は直接其方へ出向き給へと、同氏は旅館から鑛山への道筋の地圖まで書いてくれた。そこで其日は發熱の苦しさを我慢しながら、汽車で一時間ばかりのアナコンダの精煉場を視察に行つて、夕方へとくになつて宿へ歸つた時は、熱が三十九度を超えてゐた。

二 「君も罷業者か」

翌朝眼がさめると熱は未だ残つてゐたが、気分は左程悪くない。旅の空で重病に取付かれては大變だと思ひながらも、寢床にもぐつて一日を空しくするのが勿體ないやうな氣がして堪らない。と言つて素性も知れない田舎醫者にかゝつて、西部では餘り評判の良くないジャップと侮られて、飛んだ荒療治でも受けやうものなら、それこそ取返へしの附かぬやうなとがないとも限らない。え、儘よと跳ね起きて、まづい朝飯もそこ〜に悪寒を外套で蔽ひながら約束のレオナルド探鑛場へと向つた。

宿を出て電車の乗場へ行く途中の街上には、多数の労働者が三々五々臭さい煙草を噛んで往來にペツ〜と黄ろい唾を吐きながら、のんき相に談笑してゐるさまは昨日見た通りである。中には無言のまま、兩手を皺くちやだらけのポケットに突込んで物珍らし氣にショウウキンドーの中の飾物を覗いてゐるのも

ある。罷業者だとは直ぐ分つたが、どれもこれも格別昂奮したやうな様子の者は一人もゐなかつた。

レオナルド行の電車停留場の傍まで来ると、其處に同じ風體の罷業者が三人佇んで面白さうに話してゐた。三人とも氣輕さうな若者であつた。其中の一人が私の姿を見かけるや否や、忽ち前に立ふさがつて、

「君は一體何處へ行くんだ。」と訊いた。

「僕か。僕は——」レオナルドへ行くと言つたら、此連中に引止められるかも知れないと思つたので「なに鳥渡其處まで。散歩さ。」と私は何氣なく答へた。

「君もやつぱり罷業者の一人か。」と彼は重ねて問うた。

「僕は罷業者じゃないよ。君は罷業者か。」

「さうだ。」

「何故又ストライキなどをやるんだい。」と私はそろ／＼研究に取りかゝつた。

「何故つて、投票の結果さ。」

「一體何が原因なんだ。」

「そいつは解らないね。」自分が現にストライキをやつてゐながら原因は解らぬとは解らぬ話だ。此奴人を馬鹿にして居るのかとも思つて見たが、とても日本男子を馬鹿にできさうな利巧相な顔じゃない。

「やつぱり賃金値上だらう。」と私は試に聞いて見た。

「まあそんなものかな。」相變らず要領を得ない。

「君等の大將は誰だい。」

「知らないね。大將の名なぞ。」此奴よく／＼馬の尾の蠅と見える。

「君はI・W・Wの會員だらう。」

「僕はI・W・Wぢやないんだが、此二人はさうなんだ。」と他の二人を招いて、果ては三人で私を取巻いて譯もなく握手を求めたりする。とても稽古臺に

なりさうな連中ではないと見切りをつけて、私は目指すレオナルドへと急いだ。

三 老職長ベンネット君

レオナルドはビュート鑛山二十有餘の採鑛場の一つである。電車の終點から一町ばかり、禿げた丘を爪先上りに登つて行くと、木造の小さな事務所がある。私は其入口に立つて「ベンネット君はおいでですか。」と怒鳴ると、忽ち身のたけ六尺有餘の頑丈さうな一老人が泥だらけの服を纏つてノツソリと姿を現はした。私を一目見るや否や「君はヘーヤーシー君でしやう。昨日バーリン氏から電話があつたから、先刻から君の來るのを待つてゐました。」と言ひながら堅く私の手を握つてから、狭い粗末な自分の室へ導いた。私は早速用意の手帳を出して例の研究に取りかゝつた。以下は私とベンネット氏との對話である。且しやべり且書く。

「今ビュート鑛山の勞働者は何人位ゐますか。」

「戰爭中一番多かつた時は一萬人もゐたが、今は其半分の五千人位だらう。」

「其中で坑夫は何人。」

「ざつと二千五百人。」

「昨日からストライキが起つたといふ話だが、今罷業してゐる者は何人位ですか。」

「さあ、四千人位はやつてるでしやう。」

「最も多いのは何種の鑛夫ですか。」

「勿論坑夫でさ。」

「ストライキの原因は何ですか。」

「I・W・Wの煽動ですよ。」

「此處の鑛夫の中でI・W・Wの會員は何人位ゐますか。」

「さやう、坑夫の中に八九百人もゐますかな。」

「會社は其連中を解雇しないんですか。」

「解雇したくても、誰が會員なのだか、なか／＼分りにくいのでな。」

「でも指導者ぐらゐは分るでしやう。」

「そりや分つてまさ。併し指導者は此會社の被傭者でないから困るですよ。彼等は公然市中に事務所を設けて采配を振つてゐるけれども、會社としては何うにも手の出しやうがない。」

「坑夫等は自分だけの組合を作つてはゐないんですか。」

「以前『西部地方坑夫聯合會』といふ組合を造つてゐたこともあつたが、一九一四年に自分の方から解散してしまつて、今じや別に坑夫の組合といふものはないわけです。」

「何故自分で解散したんでしやう。」

「I・W・Wがだん／＼侵入して來たためですよ。何故かと言へばI・W・Wは世

界に唯一の労働者の總同盟さへあれば、それで良いといふ主義じやからな。」

「此會社はI・W・Wを労働組合として認めてゐないのでですか。」

「とても／＼。彼奴等の相手になれるものじやない。」

「それはさうと、今度のストライキの原因は何ですか。」

「それがしかとした事は分らないですよ。何しろ彼奴等は判然とした要求條件などは持出さないで、やにわに罷業するのが得意の手なんだから堪らない。元來I・W・Wの連中は時間とか賃金とかの雇傭條件を彼此いふのでなくつて、事業其者を根こそぎ資本家の手からふんだくらうといふ目論見でやつてゐるのだから、始末におへない。會社が一番困りさうな時を見計つちや、ぼかり／＼とストライキをやりくさる。」

「成程困つたものですな。して目下の賃金は幾らくらゐですか。」

「坑夫は採掘一立方尺單位の個數拂で、其他の鑛夫は皆時間拂です。尤も會社

は坑夫に對しては特に一日五弗七十五仙の最低額を保證してゐます。」

「坑夫の一日平均實收は幾らぐらゐになりますか。」

「御覽なさい、茲に五月の第一週間の賃金統計があります。一番多いのが一日十二弗六十五仙、一番少いのが保證額の五弗七十五仙、平均が八弗四十六仙に當つてゐます。」

「坑夫以外の重な鑛夫の日給額を承りたいものですな。」

「え、よろしい。捲揚機械運轉夫が六弗五十仙、支柱夫が五弗七十五仙、豎坑夫が六弗二十五仙、坑内運搬夫が五弗七十五仙、唧筒夫が六弗五十仙、機械夫が六弗五十仙、鍛冶夫が六弗五十仙、大工が五弗五十仙、それから……」

「いやもうそれくらゐで結構です。それで鑛夫一ヶ月の生活費は平均凡そ幾らぐらゐかゝるでしやう。」

「さあ、そいつは鳥渡分りにくいですが、まあ夫婦二人暮だとすると、家賃が先づ

二十弗、飲食物が四十弗、被服費が平均二十弗、其他諸雜費二十弗、さつと月百弗と見て置いたら大した相違はなからうと思ふ。」

「坑夫等は罷業中は何處から生活費を得てるでしやう。」

「何でもI・W・Wの本部から一日四弗づゝ貰ふといふ話です。」

「I・W・Wが何うしてそんな資金を有つてゐるでしやう。」

「一説には露西亞の過激派から送つて來るのだともいふが、それは確な話じやない。併し戰爭中に一度獨逸の間諜が入りこんでストライキを煽動した事實は確にありましたよ。一九一八年の春だつたが、一人の獨逸婦人が何處からともなくやつて來て、此市に二月ばかりも滞在してゐて、度々鑛夫の下宿などに入をしてゐたが、間もなく二千人ばかりのストライキが起つて、非常に厄介な問題を惹き起したことがありますよ。わしも一度其婦人を見かけたことがあつたが、年の頃三十餘りの良く肥つた、見るから一癖ありげな奴でしたよ。」

「前に聞き洩らしたが、今労働時間は何時ですか。」

「一日八時間。」

「食事時間は。」

「三十分。勿論労働時間の外です。但し坑内では別に食事時間を設けず、てんでに都合の好い時に食べることになつてゐます。」

「坑内の勤務時間といふのは、何處から何處まで、計算しますか。」

「最後の入坑者が堅坑をゲージで降りた時から、最初の退坑者が堅坑を登る時まで。」

「すると正味の就業時間は幾何位になりますか。」

「食事時間を三十分、切羽への往復時間を三十分乃至一時間と見て、まづ六時間半から七時間位でしやう。」

「食事時間の外に休憩時間がありますか。」

「ありませぬ。」

「休息は。」

「日曜日の外一箇年五日の國祭日。」

「一日の交代数は。」

「坑外は通常一交代。坑内は二交代の所と三交代の所とあります。」

「晝勤と夜勤とは何日目に交代しますか。」

「二週間目。」

「オーバータイムを認めてますか。」

「特別に忙しい時だけ。」

「其場合の賃金の支給法は。」

「日曜日は二倍、平日は一倍半です。」

「鑛夫長屋の設けがありますか。」

「ありません。併し自分で建る者には會社の土地を安價で貸します。」

「病院は。」

「一箇所。」

「鑛夫のために俱樂部、娛樂場、學校などの設備がありますか。」

「何にもありません。」

「鑛夫に共濟會の組織がありますか。」

「さう。」

「事業縮小のために鑛夫を解雇するやうな場合には、幾らかの手當でも支給しますか。」

「何も支給しません。唯一箇月前に豫告を與へるだけ。」

「一體貴下は、——^{フオアマン}職長ですか。」

「さやうで。」

「此鑛山の各採鑛場の主任は皆職長ですか。」

「職長が一人副職長が二人で、各採鑛場の坑内外の作業全部を監督する仕組になつてゐます。」

「職長に對する會社の待遇は何うです。」

「此會社の職長の待遇は非常に良いですよ。現にわしは今月給が三百七十弗で社宅は無料、おまけに電燈、煖房用のスチーム、炊事用の石炭まで只くれます」

「それは結構ですね。銀行に貯金がどつさり出来たでしやう。」

「所がなか／＼どうして——一體わしはミシガン州の生れだが、家は固から貧乏だつたし、兄弟も多かつたので、とても高等教育を受けるわけには行かなかつたので、初めから鑛山稼ぎで身を立てました。或時は坑夫もやり、或時は支柱夫もやり、堅坑夫もやつた。わしは鑛山労働にかけちや大抵何でも經驗しなかつたものはなかつたと言つて可い。此會社に備はれてから丁度二十五年になり

ますが、其内二十三年は此レオナルドでばかり働いてゐました。職長となつた今日でも坑内へ入らぬ日は一日もない。考へて見れや坑の中で一生暮したやうなものでさ。」

「それにしても丈夫で何よりですね。」

「いやもう氣は若くても年にや勝てませんや。併しねミスター・ヘーヤーシー、御蔭でわしは良い息子を一人有つてゐますよ。此兒だけには何としても高等の教育を受けさせなくちやならんと思つて、わしも随分骨を折りました。今はミシガン大學で法律を學んでゐますが、來年の春は卒業して法學士になります。わしがどんなにそれを喜んでゐるか、貴下にも想像ができるでしやう。併しわしが今此兒の學費として幾ら使つてゐると思ひますか。一箇年に三千弗ですぜわしは唯此兒に學問をさせたいばかりに一生質素な生活に甘じました。わしの財産と名のつくものは、今たつた二軒の小さな家屋があるばかりです。それ

は人に貸して幾らかの収入にはなりますが、わしの給料は毎月半分以上は息子の學費として無くなつてしまふのです。とても貯金などのできる譯のないことが分るでせう。」

「成程、貴下の其高尚な犠牲的の愛には私は深く感動させられました。貴下は實に最良の父と申すべき人だと思ひます。」

「ありがたう。實際わしは此頃の新思想を抱いてゐる若い労働者を困つた輩だと思ひますよ。彼等は少し働いて、澤山遊ぶことばかり工夫してゐる。あゝ時世もだん／＼變りますのう。」

五 ビケツト

ペンネット老と私の對話はこれで終つた。私は發熱がだん／＼高まつて呼吸苦しさを感じて來たけれども、復と得難い機會と思つたので、序に坑内の見學を請うた。ペンネット老は快く承諾して自ら坑内着などを調へてくれた。坑外

の變電所や機械工場などをざつと一巡した後、私はペンネット老の案内で堅坑を直下すること二千數百尺、唧筒座から、支柱、運搬、採鑛の作業を一わたり見物して、一時間餘りの後に元の事務所に歸り、厚くペンネット氏に禮を述べて事務所の門を出た。

門の外で電車の來るのを待つ間もなく、復もや一人の勞働者がつか／＼と私の傍へ寄つて來た。

「一體君は何處から何處へ行くんだ。」

「僕は旅行者だ。これから宿へ歸るのだ。」

「宿は何處だ。」

「ソートンホテルだ。」

「さうか。オーライ。」

は、あ此奴ビケットだなど私は始めて氣がついた。ビケットとは罷業中、他

の鑛夫の就業や、新參者の雇入を邪魔するための見張番をいふのである。そこで今度は此方から反問した。

「君も罷業の仲間か。」

「うん。」

「何のために罷業するのだい。」

「分らない。」

「リーダーの命令で仕方なしか。」

「まあさうさ。」

「勝てる見込かい。」

「分らない。」

「アイドノノー」の連發で興がさめた所へ丁度電車が來たので私は急いで飛乗つた。

五 袂別の一書

一九二〇年五月十四日 ビュート市ソートンホテルにて

レオナルド探鑛所にて

キミオ ハヤシ

ベンネット殿

拜啓過日罷出候節は非常に懇切なる御待遇に預り寔に難有厚く御禮申上候御蔭を以て研究上得る所尠からず大に見聞を擴め申候。

然る處小生義不幸にして貴下と會見の當夜より風邪のため發熱四十度に達し、早速醫療相加へ候へども高熱數日に互り更に減退致さず、病蔭に親しむこと約一週間に及び申候。幸に昨日あたりより病勢漸く衰へ候に付、此分ならば明日當所を引拂ひ度く存居候。最初の豫定にては此處よりエローストンの國立公園を一覽して、コロラド州のデンヴァーに向ひ、それよりシカゴに趣くつもりなりしも、此病氣のため豫定を變更し、直路シカゴに向ひ可申候。

彼地には未見の日本人も數多く候へば休養の便を得易からんと思へばにて候。實は出發前今一回貴下にお目にかゝり、前回伺ひ漏らしたる事どもお尋ね致候と同時に、御暇乞の御挨拶申上度所存なりし所、此始末にて其意を果さず遺憾に存候。就ては封中の日本特産絹布製皿敷數枚御禮のしるしとして呈上仕度候間御受納被下候はゞ本懷の至りに奉存候。今夏貴下の御令息がミシガン大學より御歸省の砌、久振りの貴家御團欒に際し、御使用被下候はゞ小生の滿悦之に過ぎたるは無之候。

さらば茲に貴下御夫婦並に御令息の萬福を奉祈候。草々頓首

(大正九年六月)

十二 工場から教室へ

(早稻田大學に於ける労働政策開講の辭)

一 學者と實務家

私は工場から教室へ行く。私は十五箇年を鑛山の煙の中に、炭坑の埃の中に工場の燥音の中に、そして是等の工業を管理してゐる帝都の事務所の中に送つた。私は日本現代の労働者が如何に稼ぎ、如何に活き、何を樂しみ、何を惱みつゝあるかをかなり好く知つてゐる。私は日本現代の資本家心理、企業家根性に就て相當多くを心得てゐる。人間が最も新鮮な活潑な心持を以て、自己の環境から受ける一切の刺戟を、嫩葉が春の光を貪るやうに吸入むべき時代に於て、

私は資本家と労働者との中に身を置いて、日々に理想と現實とが衝突しては沸返る波濤に只譯もなく揉まれてゐた。斯ういふ私が俄に教室へ入つて校門の外に夢のやうな社會を遠望してゐる學生諸子のために労働政策を講じるといふことは、私に取つて躊躇と期待から來る一種の昂奮を感じないではゐられない。

労働政策は職業的な學者が書齋に於て研究し、教室に於て講述するが日本に於ける現今の實狀である。私は固より職業的な學者ではない。併し全然學者でないこともない。謂ひ得べくんば實務家的學者であり、學者的實務家である。斯ういふ種類の人間たる私が、工場から教室へ出かけて行くことを敢へて辭しなかつた理由に就ては、省みて多少の自信がないでもない。

政治學、社會學、經濟學の如く、弘く人生の諸事相を對象として討究する學問は常に理論と實際との兩方面から考察されなければならぬ。而して労働政策の如きは其最も然るもの、一つであると私は信ずる。理論は「如何にあるべき

か」を教へ、實際は「斯くある」ことを教へる。理論の難有味は多數の事實を綜合して系統的なる法則を發見し、或は其法則を演繹することに依つて將來の實行を指導する所に在る。之は固より重要な任務である。併しながら理論は必然有らゆる事相を概念化して、抽象的な談理に陥り易い傾向を有するが故に、動もすれば歴史や定義や分類に没頭して、實務家に適切なる活きた知識を提供し難い場合が多い。殊に日本現代の一つの憂ひは學者と實務家とが各々自己の立場にのみ占據して、餘り没交渉な關係に在ることである。多くの學者は理論にのみ膠着して、實務に縁遠き空理を弄ぶを以て、其學者としての權威を保持する所以であるかの如く考へ、實務に必要な知識を提供するを以て却て卑俗なる所爲であるかのやうに解してゐるらしく思はれる。従つて實務家も、學者は單に教室に於て學生に講義するを以て能事了はれるものであつて、眼前の現實に處すべき活きた計畫を彼等から期待すべきものでないとしてゐる。事態既に斯

の如くであるからして、學生が一學業を畢へて實務に就いた時、先づ最初に感ずる事は、教室で修めた幾多深遠な學理が更に現實に無用な閑智識に過ぎなかつたといふ事である。其結果は彼等をして大學教育は就職上の便宜を得る手段であつて、現代の實務に必要な智能を研ぐためではなかつた事を悟らしめる。彼等は一度學窓を辭した後は、更に既修の學問に親まず、いつしか折角の學理を忘れ果て、學生時代の刻苦精勵は畢竟無意義に終るのが今日の實狀である。之は寔に憂ふべき國家的疾患と言はなければならない。

ルーソーやモンテスキューが佛蘭西革命や亞米利加建國に與へた影響、アダム・スミスやジョン・スチュアート・ミルやジェレミー・ベンサムが英國の政治經濟に及ぼした勢力、フイヒテやトライチケが獨逸の國民的復興を促した刺戟を回顧する時に、吾等は一世を指導した是等の學者の權威を畏敬するよりも、寧ろ彼等の言論をして國民の思想及生活上の實際的指針たらしむるが如き、學者

對國民の有機的とも言つて可いやうな關係を祝福しなければならぬ。

現時學者と社會との關係の最も密接なのは恐らく米國であらう。米國の工業家は其製品の改良に就て常に大學の研究室を利用することを忘れぬと同時に、電氣學者や、物理學者も其研究の結果を産業界に提供して、國民利福の増進に寄與することを怠らない。大學の經濟學教授が私立會社の顧問として其勞働者待遇法の考案に當り、職工上りの勞働組合幹部が大學に招聘されて、勞働運動の實情を講演するが如きは、米國に於て屢々見る所の事實である。米國々運の隆昌は實に學者と實務家との協働作用に負ふ所が尠くないのである。斯くの如くして、大學は直接に商工業の發達、國民生活の充實に貢獻することが出来る。又斯くの如くにして社會は教育の効果を尊崇し、大學をして國家の最高なる文化的表現たる地位を保持せしむることが出来るのである。シカゴ大學の故ホキシ―博士は經濟學研究の方法を説いて大要斯う言つてゐる。

「若し一學者が或題目に就き論議するに當り、過去に於て發表されたる諸學者の説を読み且つ拔萃することをせなかつたならば、彼は恐らく非科學的、非學者的と認められたであらう。併しながら科學的なる著述若くは其教授をなすに當り、先づ吾等の明かにして置かなければならぬ事は、科學的研究の目的は何であるか、又此目的を成就する手段として歴史を採求することが何の助けになるかといふことである。吾等は動もすれば科學的智識夫れ自體を目的と考へる癖がある。併しながら事實に於て一切の科學的研究は或確固たる、現實的なる人生の福利を増進するがために遂行せらるべき筈のものである。此故に科學的興味は常に學究的であるばかりでなく、其興味は社會又は個人の生活を理解するといふ點に在るといふ意味に於て實際的でなくてはならない。吾等が科學者として過去に遡るは『過去を再現』せんがためにするのではなくて、吾等目前の實際問題に光明を與へんがためにするのである。」

ホキシ一のいふが如き學者的態度は、勞働問題の如き現實的なる學問の研究
者に取りては最も必要である。吾等は現代の活問題を等閑視して、徒に博覽強
記を衒ふ腐儒の態度に倣つてはならない。

二 生産と能率

日本に於て大學の教室と工場の事務所との連絡が缺けてゐることに由つて生
ずる最も大きな弊害は、學者に生産に對する理解がなく、工場經營者に勞働經
濟に關する智識がないといふ事である。學者は屢々泰西の學說及勞働運動發達
の歴史を根據として、勞働組合法制定の急を論じたり勞働時間短縮の必要を説
いたりする。私は彼等の論旨を必ずしも不當とするものではない。唯私をして
常に不満を懷かざるを得ざらしめるのは、彼等が勞働者の利權を擁護し、又は伸
長せんとするに銳意するの餘り、それが爲に生産事業の蒙るべき影響に注意を
拂はないか又は故ら之を輕視してゐることである。資本家が勞働者を酷使して

不當の利益を貰うが如きは固より假借なく之を責むべきである。併しながら
若し賃金を増給し時間を減縮した結果、生産費の昂騰を來して國際商業の競争
場裡から落伍し、事業の不振、工場の閉鎖、職工の失業といふやうな事態を醸
すとしたら、それは決して資本家のみ苦痛に止まらないで、國民全般の災害、
就中最も禍を蒙るものは勞働者自身でなくてはならない。固より生産費の昂
騰を防ぐ方法としては組織の改良、機械の改善、運轉機關の發達、原料の精選
監督方法の改訂、賃金制度の變更等幾多工夫の餘地は常にあるから、資本家が
斯る方面に技師支配人を督勵するならば、賃金を増加し、時間を短縮しても、
尙且其収益を減ぜないのみか、進んで新販路を開拓することさへ不可能ではな
い。この故に資本家が生産費の昂騰と之に原因する商況の不振に藉口して、勞
働者待遇の改善に反對する不心得を咎むるは差支ないけれども、學者は只其不
心得を咎めて已むだけでは自己の本務を竭したものと云ふ事は出来ない。一步

進んで如何なる方法手段を以てすれば、克く現在作業制度の缺陷を補ひ、冗費を省減し、生産費を低下し、収益減少又は商況不振を招く虞なしに、労働者優遇の資源を調達し得べきかを教へなくてはならない。各種の事業に對し一々具體的の考案を授くるは難いとしても、少くも其考案を成すべきヒント或はサゼツションを與へなくてはならない。此用意なくして只單に抽象的に労働者の生活改善の文化的價值のみを云爲して資本家の横暴を誹議するが如きは、餘りに無責任にして眞の學者の態度でない。學者が實務家から蔑視されるのは主として斯かる事情から生ずるのである。

併しながら現代の工場經營者が只眼前の常務にのみ没頭して世界の大勢を知らず、思想の變遷に味く、既に歐米に於て幾度か經驗せられて是非の論定される事柄に對してすら、尙ほ國狀の相違とか、民俗の差異とかを云爲して、理否を辨別せざる態度に出づる場合の多いことも甚だ歎すべきである。其最も著し

い例は彼等が労働經濟に對する智識に乏しい結果として、労働能率の上に及ぼす心理的及生理的影響を顧慮しないがために、生産費を低減せんとして、其實之を騰貴せしむるが如き過失を犯してゐることである。近年に於ける天職誘導 (Vocational Guidance) や産業疲勞 (Industrial fatigue) や作業心理 (Works Psychology) の研究は從來の科學的管理法 (Scientific Management) の不足を補ひ、又は其失當を匡して能率増進方法に對する一新機軸を拓かんとしてゐる。米國の如きも從來の工場經營法が餘りに科學萬能で、機械偏重に過ぎた弊に氣が付いて近來頻に工業の人間の要素を高唱する者が續出してゐる。産業民主主義運動の如きは畢竟茲に基いてゐるのである。

工場經營は資本に對する普通の利子以上の収益を豫想せずには行はれない。従つて工場經營者が収益の増加及維持に腐心するは固より至當である。唯其手段として常に労働賃金の低い事を恃まないので、其能率の高い事を志としなければ

ばならぬ。能率を高むる方法は直接には設備や機械の改良に在るけれども、間接には工業の人的要素を十分に認識して、之に對する適切なるマネージメントを怠らぬ事である。例へば賃金値上の要求を拒絶した爲に起つたサボタージュやストライキの損害は増給に依る利益の減少額以上に上ることは決して珍らしくない。労働者の十分なる營養と、愉快なる仕事振と、備主に對する善意とは、備主側の物質上の損害を償うて餘りある場合が尠くない。是等の事實は工場經營者が幾度かの苦い經驗の後に知るよりも、學者の研究に依つて夙に知ることの出来る事實である。實務家は自己の限られたる智識と經驗とのみに頼ることをしないで、學者の智識を通じて自ら益するの道を知らなければならぬ。

日本現代の一缺陷は學者と實務家との間に上述の如き相倚り相輔くる作用のないことである。私は斯くの如き缺陷を出来るだけ除去する手段として成るべ

く實務に縁遠い理論を避け、現時の活きた事實を根據として世界の労働政策に對するアブツデーの智識を諸君に提供するを以て自分の任務としたい。諸君の内學者として終始せらるゝ人は恐らく極めて少數であつて、大多數は遠くならず官吏として實業家として或は操觚者として、現實に當面して活動せらるゝ人々であるが故に、私は大學の教室を以てお伽話中の王様の城の如く浮世離れのした所としないで、校門の外には直に鑛山の煤烟が揚り、工場の機械が運轉する俗界の一隅としたいと考へるのである。私の説く所は勿論歐米各國に亘るであらう。併しながら私の期する所は抽象的な學理の注入ではなくて實際的な智識の普及である。此智識に依つてのみ諸君は労働政策に對する世界の大勢を理解し、之に順應して當面の實務を處理するがため、適切なる考案を見出すことが出来ると思ふ。

三 労働政策とは何ぞや

元來勞働政策とは何であるか。結局それは勞働者の生活の改善を目的とする方法に外ならぬと私は思ふ。此定義は四つの概念から成立つてゐる。一は勞働者、二は生活、三は改善、四は方法である。私は先づ此四つの言葉の含蓄する意味を述べなくてはならない。

私のいふ「方法」とは公私一切の方法である。公とは大は國際聯盟の如き殆ど全世界を網羅する大組織から、小は一市町村の如き行政團體に及ぶ。國家の如きは其最も活動的にして有効的なものである。換言すれば有らゆる公法的の團體がそれである。私とは一切の私法的團體若くは個人の謂である。産業組合の如き、資本家若くは傭主の團體の如き、勞働組合の如き、會社、工場の如き其他有らゆる個人は總べて此内に包含せられるのである。是等公私の團體又は個人に依つて計畫、實行せらるゝ事項を私は「方法」といふ。

次に「生活」とは何であるか。有らゆる意味に於ての生活である。精神的であると物質的であるとを問はず、工場内であると家庭内であるとを分たず、經濟的であると道德的であるとを論ぜず、一切の生活をいふのである。

然らば「改善」とは何を意味するか。それは充實、向上、發展の謂である。人格の充實、品性の向上、智能の發達、健康の増進といふが如きは總べてそれである。要するにヨリ良き、ヨリ美しき、ヨリ樂しき、ヨリ豊かなる状態に生活を導くことが茲に所謂「改善」である。

最後に「勞働者」とは如何なる種類の人間をいふか。此語に完全な明白な定義を與へることは殆ど不可能である。「勞力を販賣して賃金を取得する者」といふ定義は、勞働者を利子や地代に依つて生活する資本家や地主と區別することは出来るけれども、官吏や軍人や會社銀行の高給使用人等と理論上から區別することが困難である。若し勞力を肉體的のものゝみに限るとするならば、書記的の事務を取れる一般の下級被傭者はこれから除外されることになる。加之本來

労働を肉體的と精神的とに別つことが甚だ非科學的で且曖昧である。勿論これは何れを主とするかに依つて相對的に區別せらるゝに過ぎないが、併し其何れともつかぬ無数の職業が有ることを知らねばならぬ。例へば巡查の如き、電信技手の如き、電車々掌の如き、看護婦の如き、俳優の如き、商店の賣子の如きが即ちそれである。

思ふに労働者といふ概念の内包は常に變化する。英國では或團體が労働組合議會 (Trade Union congress) に加盟すると否とを以て、其團體が労働組合たることを自認してゐるか何うかを識別する標準とされる。鐵道書記の組合、小學校教員の組合、商店手代の組合の如きは同會に加入して一般の労働運動に参加してゐるが故に、其組合員を労働者の範圍外に置く譯には行かない。獨逸の銀行書記の組合は一般獨逸労働組合聯合會 (Allgemeine Deutsche Gewerkschaftsbund) に加盟してゐるが、英國のそれは未だ労働組合議會に加盟してゐない。此場合

獨逸の銀行書記は其社會的地位は労働者であることを自認してゐると言へるが、英國ではさうでないとも觀察せられる。若し英國の小學教員が労働者たることを自覺してゐるといふ理由で、日本の小學教員を労働者と呼んだならば恐らく彼等は不満を感ずるであらう。

通俗語としての労働者といふ言葉の意義が斯くの如く不鮮明である以上は、強めて之に論理的な獨斷的な一定の概念を附するといふ事は、此語の通用の範圍を局限して思想の紛更を避けることが出来る筈でありながら、其實意義の徹底を缺いて一般の誤解の因となり易い。單に専門家の間にのみ取扱はるゝ學術用語と異り、労働問題の如き現實の社會的事象に對し、普遍的な考察と説明とを要する研究に在つては、研究者の頭腦は常に自己の前に展開してゐる世間の實相に密接してゐなくてはならない。従つて研究の態度は高踏的であり得ても思想發表の形式は現實的でなくてはならない。若し或學者が自己の論理的概念

の調整を紊されざらんがために、世間に通用するとは異つた意味に「労働者」といふ語を用ゐたとするならば、假令其語の特別な意義に十分な説明が加へられてあつたとしても、それは公衆の正常な理解を得るに難い。そして其結果は理論と實際とを隔離せしめる學究的弊害を助長するに過ぎない。

併しながら或政策を攻究する場合の對象として労働者を見る時には、少くとも労働者と混同され易い他の語との區別を明かにして置くことだけは必要である。

四 労働者と貧民

労働者の大部分が貧民であつて、貧民の大部分が労働者であることは毫も疑ひない。併しながら彼等は決して同一物ではない。彼等の區別は其生活の方法や社會的地位の相違から認めるのではなくして、彼等を對象とする觀察點の相違から來るのである。言ひ換へれば彼等自身の有する客觀的な屬性の相違から

ではなく、彼等を考察する者の主觀的な理解の相違から生ずる區別である。即ち同一人を經濟學的考察の立場から見れば労働者であるが、社會學的觀察の立場から見れば貧民である。もつと詳しく言へば労働者は生産、分配其他社會の經濟的活動の一要素として見るべきであるが、貧民は之と異り生活資料の窮乏に悩んでゐる社會組成の一分子として見るべきものである。労働者は其者の勞務と切離しては考察の對象であり得ない。それは單に人であつて最早労働者ではないからである。それと同じく貧民は其者の物質的缺乏と切離しては存し得ない。それは矢張人であつて貧民ではないからである。

斯ういふ見方の相違から起る當然の歸着は、労働者は保護すべき者であつて貧民は救濟すべきものであるといふ事である。保護とは労働者の經濟的活動力の維持若くは増進を目的として、彼等の生活を改善せんとするものである。救濟とは貧民の生活資料の缺乏から起る政治的及社會的の害毒を除去することを

目的として、彼等の生活を改善せんとするものである。保護といひ救済といふも、何れも單なる慈善ではない。慈善とは勞働者の保護の如く、經濟的意義もなく、貧民の救済の如く社會的價值もない一つの道德的行爲である。其動機は個人的の感情であつて、社會的の理智ではない。固より政治家たると、科學者たると、宗教家たると、社會事業家たると、詩人たると、藝術家たるとを問はず偉人の偉大なる事業は其動機が至純なる感情、言ひ換へれば人、眞理又は美に對する熱烈なる愛から發端してゐることは毫も疑ひない。ルソー、マルクス、クロボトキン等の學說やロバート・オーウエン、アシユレー卿、ウヰリアム・ブリス等の事業が同胞に對する眞摯なる愛に依つて鼓吹されず爲されやうとは吾等の想像し得ざる所である。此意味に於て慈善の動機が個人的の感情であることは毫も其道德的價值を傷けるものではない。併しながら慈善が一歩進んで社會的價值を有し得るが爲には、其感情が理智を透して組織的に運用された後

でなければならぬ。甲といふ一貧困者に同情して百圓を施與することは、慈善的行爲には相違ないが、それは單なる甲の救済であつて、貧民の救済といふことは出來ない。甲と同一の事情の下に在る一切の人々に同様の施與を爲すべき制度方法が設けられた時に、それは甫めて貧民の救済としての社會的意義を有するのである。

此觀念を明白にして置かないと、吾等が既存の社會改良事業の社會的効果を評價せんとする場合に動もすれば正當なる理解を妨ぐる因となり易いのである。例へば吾等は某貧民窟に名ある慈善家に依つて設立された兒童保護館を參觀したとする。吾等は先づ其應接室で設立者の高い人格と清い感情の表現たる同館の由來を詳説されて敬慕の念を深くする。次に吾等は館内を丁寧に案内されて其處に樂しげに唱ひ或は戯るゝ若干の兒童を見て、彼等が設立者から受くる恩惠の豊かなるを悦ぶ。而して最後に吾等は懇篤なる理事者に向つて、斯く

の如き慈善に浴しつゝある兒童の數幾何なるかを質し、其貧民窟に於ける同種の兒童の數は同館極度の收容力の數十倍に達せるを聽き、更に彼等全部を茲に包含するを得ざる理由は資力不足のため建築物を増設するの餘力なきに原因することを知るに及んで、最初の快い印象はいつしか暗い感じに變り、一種の失望と疑惑とを懷きつゝ同館を辭するやうな場合は、吾等の屢々經驗する所ではないであらうか。勿論紐育市の摩天樓も高さ數寸の煉瓦の積重ねに過ぎないのであるから、吾等は目前の事業の微なるを以て之を發達せしむる價値の有無を論斷する譯には行かない。只吾等の心すべきは設立者の人格に對する敬慕や、其動機の純真なるに對する感動を以て、直に事業其者の現に有する社會的價値の判斷を誤つてはならないといふ事である。

保護と救濟との區別は、其對象からの効果に依る相違である。保護に依つて期待するものは被保護者の經濟的活動力の維持増進であり、救濟に依つて期待

するものは被救濟者から生ずる社會的害毒の防止である。例へば婦女の夜業を禁止し少年の休日を多くするといふことは、之に依つて彼等の精神的及肉體的の勞苦を輕減して、其經濟的活動力を失はざらしめんがためである。安價食堂を設けたり、老衰者に年金を支給したりすることは、貧困から生ずる種々なる罪惡、不衛生及無教育等から來る社會生活の禍害を除去防遏せんがためである。保護は何時も積極的であつて、救濟は常に消極的である。總べての貧民は救濟を要するけれども必ずしも保護を要しない。何となれば貧民中の老衰者、幼弱者、不具廢疾者の如きは之を保護しても、彼等から經濟的活動力を要求することが出來ぬからである。又總べての勞働者は保護を要するけれども必ずしも救濟を要しない。何となれば高給賃金を得つゝある熟練職工は生活資料の缺乏から來る社會的禍害の因をなしてゐないからである。勿論此兩者の間に勞働者にして同時に貧民たる者の多數存在せる事は眼前の事實である。此場合彼等は保

護と救済とを同時に受くべきものである。

五 労働政策と社会政策

茲に於て私は労働政策の意義に就て稍々明確なる解釋を下し得たと信ずる。労働政策とは冒頭に述べた通り労働者の生活の改善を目的とする方法であるが、其方法は労働者の経済的活動力の維持増進を以て計畫の基礎的觀念としなければならぬ。若し此觀念を缺いたならば、それは社会政策若くは慈善事業では有り得ても、労働政策では有り得ない。社会政策は屢々労働政策をも包含し、労働政策は屢々社会政策と交渉を有する。併しながら此兩者は決して同一物でない。例へば工場法、最低賃金、職業紹介、労働組合、労働争議和解仲裁工場委員会、利潤分配、安全第一、温情主義の如きは労働政策であつて、産業組合、住宅組合、田園都市、無料診療所、公衆食堂、感化院、養老院、孤兒院簡易圖書館、飲酒禁止又は制限の如きは社会政策である。等しく社会保険の中

に在つても、傷害保険及失業保険は労働政策に屬し、疾病保険及養老保険は社会政策に屬する。協調會の事業は前者であつて、濟生會や救世軍のそれは後者である。社会政策は固より貧民救済のみを以て目的とするものではなく、其研究及計畫の對象は常に全體としての社会生活の向上改善に在る。従つて労働政策は社会政策の一部と見ても差支ない。唯其對象が餘りに廣汎複雑にして、特種の研究を必要とするが故に、別に獨立の學問上の地位を與へらるべきである。若し夫れ社会主義の如きは社会政策としても労働政策としても最も精到なる研究を要する題目なるが故に、更に獨立して學問上別個の地位を與へられてゐる。併しながら現時の労働問題は社会主義の思想を度外して、其真相を究明することとは不可能なるが故に、吾等は適當なる機會に於て、之にも接觸しなければならぬ。

(大正十年五月)

大正十一年二月廿三日印刷
大正十一年二月廿六日發行

定價 二圓五十錢

■ 強者もに弱者もに ■

版權所有



著者 林 癸未夫

發行者 福永文之助
東京市京橋區尾張町二丁目十五番地

印刷者 和田 操
東京市芝區南佐久間町一丁目三番地

印刷所 和田 榮堂
東京市芝區南佐久間町一丁目三番地

發行所

東京市京橋區尾張町
振替東京五五三
電話銀座一六九九
一五八七

警醒社書店

法學博士 吉野作造 著……………□

社會改造運動に於ける

新人の使命

四六版紙質善美
定價一圓八十錢
送料—十七錢

社會問題大觀

歐洲戰爭の大試練を経て世界の人の魂は目醒めた。我が日本の人々もこの世界的脈搏に打たれて今や大に動搖しつつある。保守的な考の人には此現象に不安を感じて憂愁措く能ざるものがあるが如きも、所謂新人の一群は一道の光明を天の一角に仰ぎ見て云ひ知れぬ希望に胸躍らせて居るやうに見ゆる。只彼等多くは光榮ある將來を信じて疑ひはしないが、變轉窮りなき當今の世相に對して何を爲すべきかを知らない。殊に複雑多端なる社會問題に對しては甚だしく昏迷してゐる。本會は茲に見る所あり、世の青年有爲の士に代り當今吾人の先達なる吉野博士に乞ふに、這般の問題に對する新人の使命如何の講説を以てした。博士乃ち欣然として、筆執られたのが本書である。蓋し這般の問題の如きは博士の最も得意とする壇場にして、本書亦論旨明快にして且平淡暢達を極め、何人も讀んで得る所多かるべきを疑はない。當今の重要問題に對する最大權威の羅針盤として敢て之を江湖に薦む。

吉野作造著 國際生活の一新 新人の使命 姉妹篇

東銀 京座 文 化 生 活 研 究 會 振 替 東 京 一五五一

賀川 豊彦 著……………□

イエスの宗教と其眞理

四六版總布裝函入
定價二圓二十錢
送料—十五錢

私は十五の幼い時から三十四の今日まで變らざるイエスの愛に守られてその恵を日一日深く味ふてゐる。兇漢に擲られる時でも、醉漢に侮辱される時でも、辻の淫賣婦に接する時でも、イエスは常に私と強くそうして聖く居らせてくれる。私は殆どイエスの爲に何もした覺へがない。然しイエスは私に凡てを與へてくれた。そしてイエスを味ふてゐるその味ひ方を偶々各方面の人が聞かせてくれたと云はれるので、喜んで私は本書を世に送り出すのである。

神戸貧民窟にて……………著者

賀川 豊彦 著

- 基督傳論爭史 定價一圓五十錢 送料—十二錢
- 繪入豫言者エレミヤ 定價七十六錢 送料—六錢

賀川 豊彦 著

自由組合論

四六版紙表装
定價 一圓三十錢
送料 六錢

飽くまで自由を叫ばしてくれ！日本の土よ！私はパンが無くても自由
に生きたい！いや自由の爲めにパンを要求するまである。私はパンの
爲めに自由を賣りたくない。……私は組合の自由の爲めに——労働者と社
會の自由の爲めに絶叫する。流血によらず暗黒と反逆によらず、氷河を溶
かし寒流を暖むる白熱の太陽の名の爲めに私は奮起する。

——目序のうちより——

賀川

豊彦

著書

□貧民心理の研究□

□定價 三圓五十錢
送料 十八錢

□精神運動と社會運動□

□定價 三圓五十錢
送料 十八錢

□人間苦と人間建築□

□定價 三圓五十錢
送料 十八錢

500
266

終